SONY

4-740-824-**02**(1)

Ultra HD Blu-ray™ / DVD プレーヤー

取扱説明書

はじめの接続や準備
再生
設定
その他

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 **電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。**

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

目次

3　安全のために
8　使用上のご注意
10　各部の名前

はじめの接続や準備

14　1：付属品を確認する
14　2：テレビやサウンドバー／ AVアンプをつなぐ
16　3：ネットワークにつなぐ
18　4：かんたん設定
19　ホーム画面表示

再生

20　ディスクを再生する
20　Blu-ray 3Dを楽しむ
20　4K Ultra HD Blu-rayを楽しむ
21　USB機器を再生する
21　パソコンなどに保存したファイルを本機で見る（ホームネットワーク機能）
22　BLUETOOTH®機器で音声を聞く
24　さまざまなオプション

設定

26　本機の設定を変更する

その他

34　困ったときは
39　保証書とアフターサービス
40　主な仕様
41　再生できるディスク
42　再生できるファイルの種類

索引

48　索引

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

3~7ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。
8ページの「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

定期的に点検する

設置時や1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、プラグがしっかり差し込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

❶ 電源を切る
❷ 電源プラグをコンセントから抜く
❸ お買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

行為を禁止する記号

行為を指示する記号

⚠警告

下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 製品と壁や棚との間にはさみ込んだりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 移動させるときは、電源プラグを抜く。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

➡ 万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーの相談窓口に交換をご依頼ください。

本機の上に重たいものや不安定なものを置かない

感電や故障の原因となります。

湿気やほこりの多い場所や、油煙や湯気のあたる場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。特に風呂場や加湿器のそばなどでは絶対に使用しないでください。

内部に水や異物を入れないようにする

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。本機上に花瓶など水の入ったものを置かないでください。また、本機を水滴のかかる場所に置かないでください。

➡ 万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

本機は室内専用です

乗物の中や船舶の中などで使用しないでください。

5,150~5,350 MHz帯は屋内使用に限定されます。

キャビネットを開けたり、分解や改造をしない

火災や感電、けがの原因となることがあります。

➡ 内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。

本体を布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

雷が鳴り出したら、本体や電源プラグには触れない

感電の原因となります。

本機は国内専用です

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。また、コンセントの定格を超えて使用しないでください。

⚠注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

可燃ガスのエアゾールやスプレーを使用しない

禁止

清掃用や潤滑用などの可燃性ガスを本機に使用すると、モーターやスイッチの接点、静電気などの火花、高温部品が原因で引火し、爆発や火災が発生するおそれがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

通電中、本体に長時間ふれない

禁止

温度が相当上がることがあります。長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

風通しの悪い所に置いたり、通風孔をふさいだりしない

禁止

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上、または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさぐなど、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。

大音量で長時間続けて聞かない

禁止

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くときにご注意ください。

➡ 呼びかけられたら気がつくくらいの音量で聞きましょう。

安定した場所に置く

禁止

水平で丈夫な場所に置いてください。ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も充分に確認してください。

本体の前に物を置かない

禁止

ディスクトレイが開く際に、物が倒れて破損やけがの原因となることがあります。

幼児の手の届かない場所に置く

指のケガに注意

ディスクの挿入口などに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。

コード類は正しく配置する

禁止

AVケーブルや電源コードは足にひっかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。充分に注意して接続、配置してください。

移動させるとき、長期間使わないときは、電源プラグを抜く

プラグをコンセントから抜く

長期間使用しないときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化、漏電などにより火災の原因となることがあります。

移動させるとき、すべてのAVケーブルや電源コードを抜く

指示

AVケーブルや電源コードは足にひっかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。

⚠注意 **下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。**

お手入れの際、電源プラグを抜く

プラグをコンセントから抜く

電源プラグを差し込んだまま、お手入れをすると、感電の原因となることがあります。

ひび割れ、変形したディスクや補修したディスクを再生しない

禁止

本体内部でディスクが破損し、けがの原因となることがあります。

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイヤレス機能を使用しない

禁止

電波が影響を及ぼし、医療用電気機器の誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠警告

電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間が経ってから症状が現れることがあります。

必ず次の処理をする

- ➡ 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- ➡ 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

電池は乳幼児の手の届かない所に置く

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。

- ➡ 万一、飲み込んだときはただちに医師に相談してください。

電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水でぬらさない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

電池を火のそばや直射日光のあたるところなど、高温の場所で使用、保管、放置しない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

⚠注意

指定以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。
誤ったタイプに交換した場合は、爆発する危険があります。

- ➡ マンガン電池をお使いください。電池の品番を確かめ、お使いください。

＋と－の向きを正しく入れる

＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

- ➡ 機器の表示に合わせて、正しく入れてください。

使い切ったときや、長期間使用しないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

リモコンの電池フタを開けて使用しない

リモコンの電池フタを開けたまま使用すると、漏液、発熱、発火、破裂などの原因となることがあります。

- ➡ マンガン電池を使用し、フタを閉めて使用してください。

使用上のご注意

本機は、コンセントの近くでお使いください。本機をご使用中、異常な音やにおい、煙がでたときはすぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜き、電源を遮断してください。
本体の電源ボタンを切っただけでは、完全に電源から切り離せません。

本機の起動と終了について

本機はシステム全体の最適化を図るため、電源入切時に電源ボタンを押してから、実際に起動するまでと実際に電源が切れるまでしばらく時間がかかります。
電源が切れる前にコンセントから電源プラグを抜くと、故障の原因になります。

残像現象(画像の焼きつき)のご注意

本機のメニュー画面などの静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象を起こす場合があります。

設置場所について

次のような場所には置かないでください。
- 振動の多い所。
- 直射日光が当る所、湿度が高い所。
- 極端に寒い所、極端に暑い所。
- 本棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所。
- 通風孔をふさぐような所(毛足の長いじゅうたんや布団の上)。

また、本機の上に、例えば火のついたローソクのような、火炎源を置かないでください。火災の原因となります。

設置場所を変えるときは

BDやDVD、CDを入れたまま本機を動かさないでください。ディスクを傷めることがあります。
配線／接続作業を行うときは本機の電源を切り、本機の電源が切れていることを確認してから電源プラグをコンセントから必ず抜いてください。

結露(露つき)について

結露とは空気中の水分が冷えた金属の板などに付着し、水滴となる現象です。本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋で、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。
結露が起きた場合、結露がなくなるまで、そのまま放置してください。
- 電源プラグをコンセントに差し込んでいない場合
  電源プラグをコンセントに差し込まないで、そのまま放置してください。
- 電源を入れていない場合
  電源を入れないで、そのまま放置してください。
- 電源を入れている場合
  電源を入れたまま放置してください。

結露があるときにご使用になると、故障の原因になります。

本体のお手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

再生を開始するときは

音量を必ず下げておきましょう。初めから音量を上げていると思わぬ大きな音が出てスピーカーを破損させたり、ヘッドホンで聞いている場合には耳を傷めるおそれがあります。

映画や音楽を楽しむときは

映画や音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さめな音でも周囲にはよく通るものです。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

クリーニングディスクについて

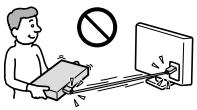
レンズ用のクリーニングディスクは、本機では使わないでください。故障するおそれがあります。

HDMI出力端子につなぐときのご注意

次のような場合、HDMI出力端子やコネクターを破損させるおそれがありますのでご注意ください。
- ケーブルを差し込むときは、本体後面のHDMI出力端子とコネクターの形や向きに注意してください。

コネクターが逆さになっている　曲がっている

• 本機を移動させるときは、必ずHDMIケーブルを抜いてください。



• HDMIケーブルを抜き差しするときは、コネクターをまっすぐ持ってください。コネクターをねじ曲げたり、HDMI出力端子に強く押しこんだりしないでください。

3D映像の視聴について

3D映像の視聴中に目の疲労、疲れ、気分が悪くなるなどの不快な症状が出ることがあります。3D映像を視聴するときは、定期的に休憩をとることをおすすめします。必要な休憩の長さや頻度は個人によって異なりますので、ご自身でご判断ください。不快な症状が出たときは、回復するまで3D映像の視聴をやめ、必要に応じて医師にご相談ください。本機に接続する機器や本機で再生するブルーレイディスクの取扱説明書やご注意文などもあわせてご覧ください。最新情報については、ホームページ(https://www.sony.jp/support/)をご覧ください。なお、お子さま(特に6歳未満の子)の視覚は発達段階にあります。お子さまが3D映像を視聴する前に、小児科や眼科などの医師にご相談ください。
大人のかたは、お子さまが上記注意点を守るよう監督してください。

無線LANのセキュリティについて

無線LANによる通信は、電波を利用して行われるため、通信内容を傍受されるおそれがあります。無線通信を保護するために、本機はさまざまなセキュリティ機能に対応しています。接続環境に応じて正しくセキュリティ対策をしてください。
セキュリティ対策を施さず、あるいは無線LAN機能の使用上やむを得ない事情により、セキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

◆セキュリティなし

簡単に設定できますが、特別なツールなどを使わずに誰でも無線電波を受信し、ネットワークに侵入できてしまいます。不正アクセスや通信内容の傍受をされるおそれがあります。

◆WEP

WEPは、通信を暗号化することで、第三者に通信を傍受されたり、ネットワークに侵入されたりするのを防止します。解読法の知られている古いセキュリティ技術のため、TKIP/AESに対応していない機器をつなぐときのみ、お使いください。

◆WPA-PSK（TKIP）、WPA2-PSK（TKIP）

TKIPはWEPの脆弱性対策を施したセキュリティ技術です。WEPより高度なセキュリティが実現されます。

◆WPA-PSK（AES）、WPA2-PSK（AES）

AESは、WEPとTKIPとは異なる高度な暗号化方式を使ったセキュリティ技術です。WEPやTKIPより高度なセキュリティが実現されます。

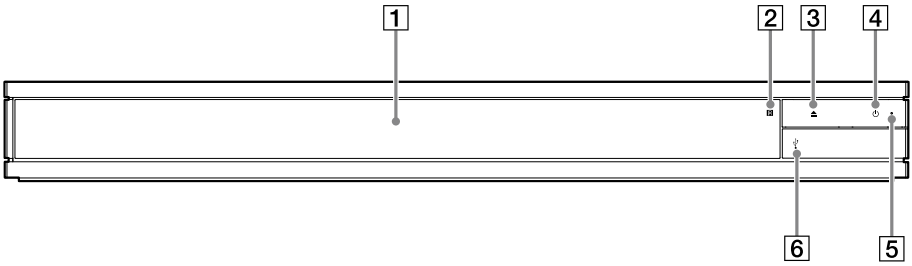
ディスクの取り扱い上のご注意

• 再生面に手を触れないように持ちます。
• 直射日光が当る所など温度の高い所、湿度の高い所には置かないでください。
• ケースに入れて保存してください。
• 指紋やほこりによるディスクの汚れは、映像の乱れや音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。

• 柔かい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔かい布で拭いた後、さらに乾いた柔かい布で水気を拭き取ってください。
• ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めることがありますので、使わないでください。
• ディスクにラベル印刷した場合は、印刷が乾いてから再生してください。
• 次のようなディスクを使用すると本機の故障の原因となることがあります。
  – 円形以外の特殊な形状(カード型、ハート型、星型など)をしたディスク
  – 紙やシールの貼られたディスク
  – セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡のあるディスク
• ディスク読み取り面の傷を取るために磨いたり削ったりしないでください。

各部の名前

本体前面



1 ドアトレイ

2 リモコン受光部

3 ⏏（開／閉）ボタン

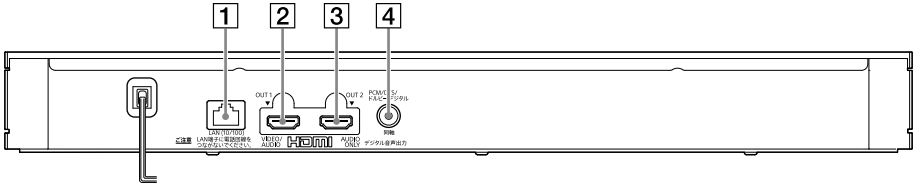
4 ⏻（電源）ボタン
本機の電源を入れる、またはスタンバイ状態にします。

5 電源ランプ
本機の電源を入れると点灯します。

6 ψ(USB)端子カバー（AV周辺機器用）*
カバーを開けてUSB機器をこの端子につなぎます。
21ページをご覧ください。

* 充電に使用しないでください。

本体後面



1 LAN（10/100）端子

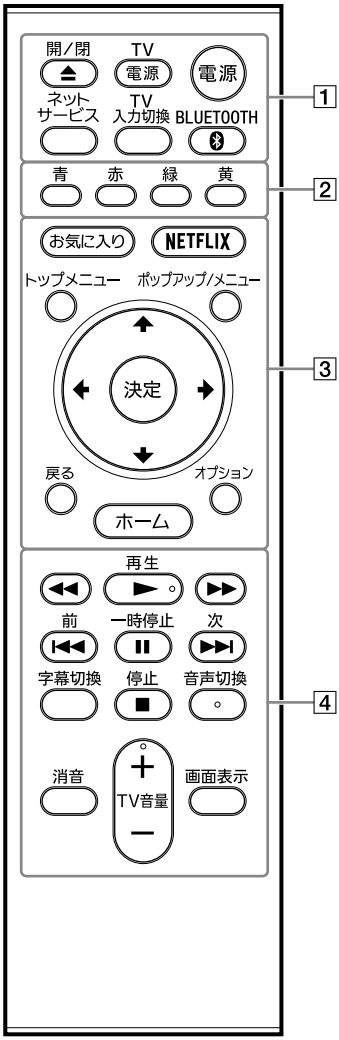
2 HDMI出力（OUT 1）端子（VIDEO/AUDIO）
デジタル映像と音声信号を出力します。

3 HDMI出力（OUT 2）端子（AUDIO ONLY）
デジタル音声のみ出力します。
シールを剥がして端子をご利用ください。

4 デジタル音声出力（同軸）端子

リモコン

利用できるリモコンの機能は、ディスクや使用状況によって異なります。



ちょっと一言

音声切換ボタン、TV音量＋ボタン、および►再生ボタンには凸(突起)がついています。操作の目印としてお使いください。

1 ⏏ 開/閉

ディスクトレイを開閉します。

TV電源

テレビの電源を入れる、またはスタンバイ状態にします。

電源

本機の電源を入れる、またはスタンバイ状態にします。

ネットサービス

最後にアクセスしたオンラインサービスを起動します。

TV入力切換

テレビの入力を切り換えます。

BLUETOOTH（22ページ）

- Bluetooth機器が一台も登録されていない場合は、スキャンした機器のリストが表示されます。
- Bluetooth機器が一台以上登録されている場合は、最後に使用した機器に接続します。
- 接続中のBluetooth機器との接続を解除します。

2 カラーボタン(青/赤/緑/黄)

各種メニューへショートカットできます。

3 お気に入り(19ページ)

お気に入りに登録したアプリケーションにアクセスします。

NETFLIX

Netflixオンラインサービスにアクセスします。Netflixオンラインサービスに関する詳細情報は、以下のホームページのQ&Aを確認してください。
https://www.sony.jp/support/bd-player/

トップメニュー
Ultra HD Blu-ray/BD/DVDのトップメニューを表示または閉じます。

ポップアップ／メニュー
Ultra HD Blu-ray/BD/DVDのメニューを 表示または閉じます。

オプション(24ページ)
選択できるオプション機能を画面に表示します。

戻る
ひとつ前の画面に戻ります。

←/↑/↓/→
上下左右に動かして項目を選びます。

ちょっと一言

- ↑/↓は、音楽CD 再生時に、トラックサーチのトラック番号を入力できます。
- ↑/↓は、写真再生時に、写真を右回りまたは左回りに90 度回転できます。
- ←/→は、ホームネットワークビデオの再生中にサーチ機能を行うために使えます。
- ←/→は、静止画像を変更できる場合に、静止画像を変更するために使えます。

決定
選んだ項目を決定します。

ホーム
ホーム画面を表示します。

4 ◀◀/▶▶（早戻し／早送り）

- 再生中に押すと、早送り再生または早戻し再生します。ビデオ再生中は、押すたびに速さが切り換わります。
- 一時停止中に1 秒以上押すと、スロー再生します。
- 一時停止中に軽く押すと、コマ送り再生します。

▶再生
再生します。

I◀◀前／次▶▶I
前または次のチャプター／トラック／ファイルの先頭に進みます。

❚❚一時停止
一時停止または再生を再開します。

字幕切換(31ページ)
Ultra HD Blu-ray/BD/DVDに字幕が複数の言語で記録されている場合、言語を選べます。

■停止
再生を停止すると同時に、停止した位置を記憶します(つづき再生)。
再開する位置は、動画／音楽では最後に停止した位置、写真では最後に再生した写真になります。

音声切換(30ページ)
Ultra HD Blu-ray/BD/DVDにセリフが複数の言語で記録されて いる場合、言語を選べます。CDでは音声トラックを選べます。

消音
一時的にテレビの音を消します。

TV音量 ＋／－
テレビの音量を調節します。

画面表示
再生情報を画面に表示します。

ちょっと一言

ディスクの種類によっては、つづき再生できないものがあります。

ディスクトレイをロックするには(チャイルドロック)

誤ってディスクトレイを開けないようにロックできます。
ディスクトレイをロックしたり、ロックを解除したりするには、本機の電源が入った状態で、リモコンの■停止ボタン、ホームボタン、トップメニューボタンの順に押してください。

操作できるテレビの設定方法について

リモコンのTV電源を押したま ま、お使いのテレビメーカーに対して割り振られたボタンを2秒以上押してください。

例：日立製のテレビをお使いの場合は、TV電源を押したま ま、カラーボタン(赤)を2秒以上押してください。

メーカー	リモコンのボタン
ソニー *	ネットサービス
パナソニック	TV入力切換
シャープ	BLUETOOTH
東芝	カラーボタン(青)
日立	カラーボタン(赤)
三菱	カラーボタン(緑)
パイオニア	カラーボタン(黄)
LG	お気に入り

* お買い上げ時の設定です。

ご注意

テレビの年代や機種によっては操作をできない場合があります。その場合は、テレビに付属のリモコンをお使いください。

1：付属品を確認する

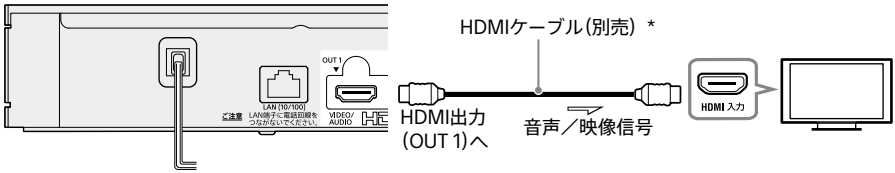
- リモコン(1個)
- 単4形(R03)乾電池(2本)
- 取扱説明書(本書)(1部)
- 保証書(1部)

2：テレビやサウンドバー／ AVアンプをつなぐ

電源コードは、すべての接続が終わってからつないでください。

BDプレーヤーを楽しむためには、さまざまな接続方法があります。お使いのサウンドバー／AVアンプの機能や、搭載されている端子に応じて接続してください。

テレビとつなぐ



* プレミアムハイスピードHDMIケーブル(別売)または18 Gbps対応のハイスピードHDMIケーブル(別売)。

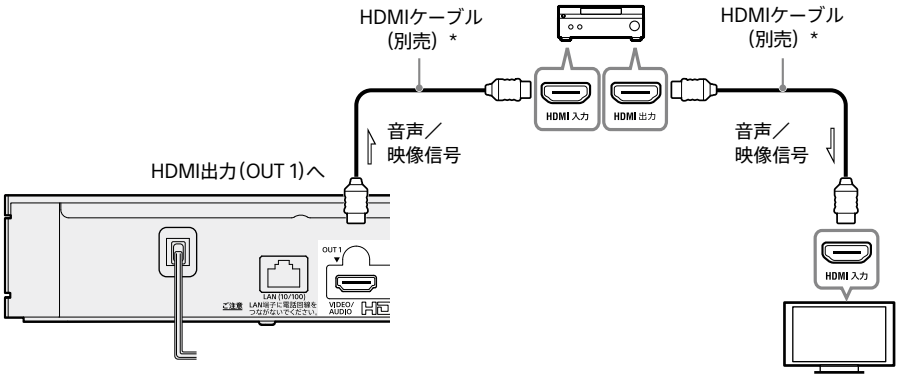
ご注意

- より高精細なHDMIフォーマット(4K 60p/Ultra HD、4K HDR、ドルビービジョンなど)の映像を表示して楽しむには、その映像フォーマットに対応しているテレビと接続してください。
- より高精細なHDMIフォーマットで映像を表示するときは、18 Gbpsに対応したプレミアムハイスピードHDMIケーブル(別売)をご使用ください。
- ブラビアをお使いの場合は、テレビの「HDMI信号フォーマット」を調整してください。詳しくは、本機を接続したテレビの取扱説明書をご確認ください。
- ドルビービジョンを楽しむには、本機の[映像設定]の[ドルビービジョン出力]を設定してください(26ページ)。
- サウンドバー／ AVアンプとテレビを直接つないでいる場合は、15ページをご覧ください。
- 接続しているときに問題が起きたり、詳しい情報が必要なときは、「困ったときは」(34ページ)をご覧ください。

サウンドバー／ AVアンプを経由してテレビにつなぐ

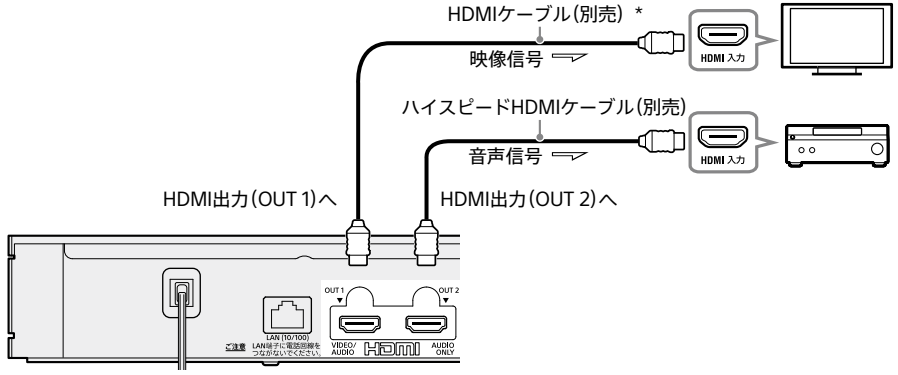
お使いのサウンドバー／ AVアンプの機能や、搭載されている端子に応じて接続してください。以下は主な接続方法の例です。
お使いのサウンドバー／ AVアンプについて詳しくは、サウンドバー／ AVアンプの取扱説明書をご確認ください。

Ⓐ HDMI入力端子がある4K対応のサウンドバー／ AVアンプ



→ ビットストリーム(Dolby/DTS)を楽しむには、[音声設定]の[BD操作音・副音声]を設定してください(29ページ)。
→ この接続をするときは、[本体設定]の[HDMI音声出力]を[HDMI1]または[自動]に設定します(32ページ)。
→ より高精細なHDMIフォーマット(4K 60p/Ultra HD、4K HDR、ドルビービジョンなど)の映像を表示して楽しむには、接続するすべての機器が、その映像フォーマットに対応している必要があります。

Ⓑ HDMI入力端子がある4K非対応のサウンドバー／ AVアンプ

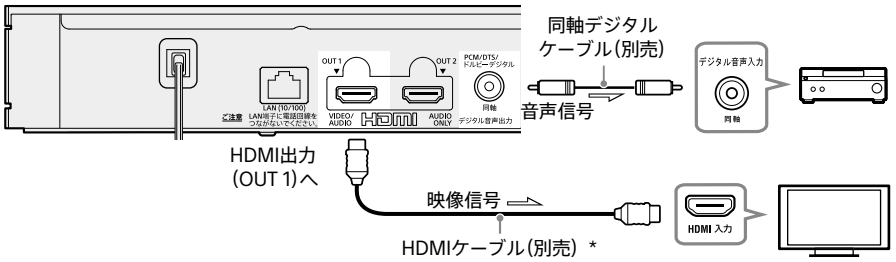


→ この接続をするときは、[本体設定]の[HDMI音声出力]を[HDMI2]または[自動]に設定します(32ページ)。

ご注意

テレビとサウンドバー／ AVアンプをHDMIケーブルでつないでいる場合、音が出なかったり本機の入力に切り換わらないことがあります。「困ったときは」(34ページ)をご覧ください。

Ⓒ HDMI入力端子がない4K非対応のサウンドバー／ AVアンプ



→ この接続をするときは、[本体設定]の[HDMI音声出力]を[HDMI1]または[自動]に設定します(32ページ)。

* プレミアムハイスピードHDMIケーブル(別売)または18 Gbps対応のハイスピードHDMIケーブル(別売)。

ご注意

- より高精細なHDMIフォーマットで映像を表示するときは、18 Gbpsに対応したプレミアムハイスピードHDMIケーブル(別売)をご使用ください。
- ドルビービジョンを楽しむには、本機の[映像設定]の[ドルビービジョン出力]を設定してください(26ページ)。
- 接続しているときに問題が起きたり、詳しい情報が必要なときは、「困ったときは」(34ページ)をご覧ください。

3：ネットワークにつなぐ

ネットワークにつなぐと、(Netflixなどの)ネットワークサービスがご利用できます。
ネットワークサービスをご利用にならない場合は、「**4：かんたん設定**」に進んでください(18ページ)。

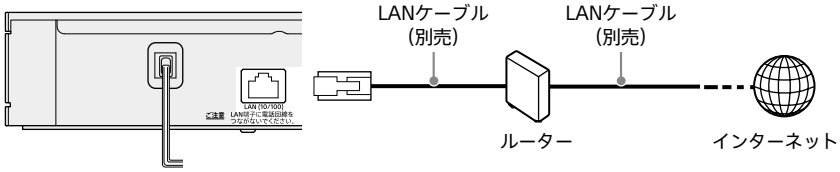
ご注意

本機につなぐルーターなどは、電気通信技術基準に基づく技術基準に適合しているものを利用してください。

ちょっと一言

- ネットワーク接続の設定について詳しくは、[通信設定](33ページ)をご覧ください。
- 本機をインターネットに接続しているときは、ソフトウェアアップデートがあると自動的にお知らせ画面が表示されます。

有線で接続する場合



無線で接続する場合

ちょっと一言

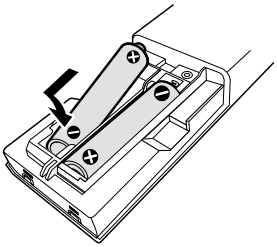
- ネットワークにつなげるには、あらかじめ、無線LANルーターが必要です。詳しくは、ご購入いただいたお店または、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。
- 本機と無線LANルーターの接続にはケーブルは不要です。
- お使いの無線LANルーターがWi-Fi Protected Setup™（WPS）に対応している場合は、Wi-Fi Protected Setup™（WPS）のご利用をおすすめします。
- 事前にWi-Fi Protected Setup™（WPS）ボタン（ルーターの機種によっては、AOSS、らくらく無線スタートと記載されています）の位置をご確認ください。

Wi-Fi Protected Setup™（WPS）とは、無線LAN機器の接続やセキュリティ等の設定を容易に行うことができる機能です。

4：かんたん設定

1 リモコンに電池を入れる。

電池の ⊕ と ⊖ 側をリモコンの電池ホルダー内の表示に合わせ、単4形(R03)乾電池2本を ⊖ 側から入れてください。



2 電源コードをコンセントにつなぐ。

3 本機の電源を入れる。

⏻（電源）ボタンを押して、本機の電源を入れる。電源ランプが点灯します。

4 テレビの入力をあわせる。

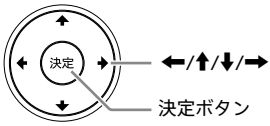
- テレビの電源を入れ、テレビのリモコンの入力切換ボタンを押して、テレビの入力を本機がつながっている入力（「HDMI1」など）に設定する。これにより、本機の映像がテレビ画面に映ります。
- 本機の映像がテレビ画面に映らないときは、HDMIケーブルが正しく差し込まれていない可能性があります。本機の電源を切り、HDMIケーブルを抜き、もう一度しっかり差し込んでください。そのあと、本機の電源をもう一度入れてください。

5 ［かんたん設定］を行う。

初めて本機の電源を入れるときだけ、［かんたん設定］画面が表示されます。

6 ［かんたんネットワーク設定］を行う。

ひきつづき、リモコンの ←/↑/↓/→ と決定ボタンを使い、画面の指示にしたがって設定 してください。

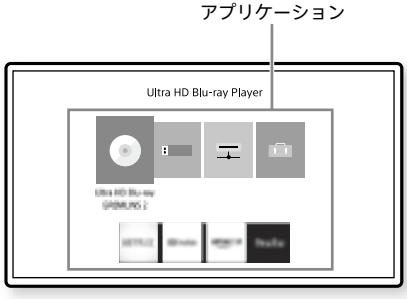


ちょっと一言

- 無線LAN設定をWi-Fi Protected Setup™（WPS）で行う場合、本機の［かんたんネットワーク設定 -無線LAN接続］画面における「開始」を選択して、次に無線LANルーターのWi-Fi Protected Setup™（WPS）ボタンを押すと、自動的に本機と無線LANルーターの接続が完了します。
- 本機と無線LANルーターの接続が完了しない場合、一旦終了となりますが、以下の内容をご確認いただき、無線LAN設定を再度開始してください。
  - 無線LANルーターの電源が入っていること。
  - 無線LANルーター上でのボタン操作が正しいこと。
  - 無線LANルーターが通信範囲内にあること。
  - 通信の妨げとなる機器（電子レンジなど）が動作していないこと。
- ネットワーク設定の詳細は以下のホームページの「Q&A」で、ご覧いただけます。
  https://www.sony.jp/support/bd-player/
- ［かんたん初期設定］が完了したら、［かんたんネットワーク設定］を選び、本機のネットワーク機能をお使いください。
- 出力がなかったり、画面が黒い場合は「困ったときは」（34ページ）をご覧ください。

ホーム画面表示

ホームボタンを押すと、ホーム画面が表示されます。←/↑/↓/→でアプリケーションを選び、決定ボタンを押してください。



以下のアプリケーションがホーム画面に表示されます。
ネットワークサービスのアプリケーションのアイコンはインターネット接続後に表示されます。

(ディスク)
ディスクを再生します。

[USB機器]
USB機器のコンテンツを再生します(21ページ)。

[メディアサーバー]
ホームネットワークサーバーのファイルを本機経由で再生します(21ページ)。

[設定]
本機の設定を調整します(26ページ)。

ちょっと一言

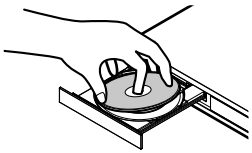
ディスク、USB機器、メディアサーバー、およびネットワークサービスをお気に入りに登録できます。アプリケーションのアイコンを選んだ状態でオプションボタンを押して[お気に入りとして登録]を選ぶと、そのアプリケーションがリモコンのお気に入りボタンに登録されます。登録できるアプリケーションは1つだけです。

ディスクを再生する

Ultra HD Blu-rayディスク、BD、DVDおよびCDを再生できます。「再生できるディスク」については、41ページをご覧ください。

1 ⏏開/閉ボタンを押して、ディスクトレイにディスクをのせる。

文字や画像が書いてある面を上にします。
両面ディスクの場合は、再生したい側を下にして入れてください。



2 ⏏開/閉ボタンを押してディスクトレイを閉める。

再生が始まります。
再生が自動的に始まらない場合、(ディスク)の[ビデオ]、[ミュージック]、または[フォト]を選び、決定ボタンまたは►再生ボタンを押してください。

ちょっと一言

- 映像や音声が出ないなど、お困りのときは「困ったときは」(34ページ)をご覧ください。
- (ディスクおよびフォルダー)のアイコンが表示された場合は、ディスクにデータコンテンツが存在します。オプションメニューから[データコンテンツ]を選択することで表示させることができます。

Blu-ray 3Dを楽しむ

Blu-ray 3Dロゴが記載されたBlu-ray 3Dディスクを再生できます。

1 Blu-ray 3Dディスクを再生する準備をする。

- 本機をハイスピードHDMIケーブル(別売)で3D対応の機器につないでください。
- [映像設定]の[3D出力設定]と[3Dテレビ画面サイズ設定]を設定してください(28ページ)。

2 Blu-ray 3Dディスクを入れる。

操作方法はディスクによって異なります。ディスクに付属の取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言

お使いのテレビや接続機器の取扱説明書もご覧ください。

ご注意

[ドルビービジョン出力]を[入]に設定されている時、3D再生機能はお使いになれません。

4K Ultra HD Blu-rayを楽しむ

1 4K Ultra HD Blu-rayディスクを再生する準備をする

- 本機を18 Gbps対応のプレミアムハイスピードHDMIケーブル(別売)で4K60p対応のテレビにつないでください。
- ブラビアをお使いの場合は、テレビの「HDMI信号フォーマット」を調整してください。

* 詳しくは、テレビの取扱説明書をご確認ください。

2 4K Ultra HD Blu-rayディスクを入れる。
操作方法はディスクによって異なります。ディスクに付属の取扱説明書をご覧ください。

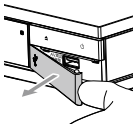
ご注意

ディスクキーのない4K Ultra HD Blu-rayディスクを再生するときは、ネットワーク環境に応じたネットワーク接続と公式キーサーバー(スタジオ)が必要です。

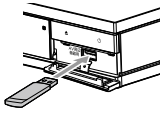
USB機器を再生する

再生できるファイルについては、「再生できるファイルの種類」(42ページ)をご覧ください。

1 USB端子カバーを開ける。



2 USB機器を本機のUSB端子につなぐ。



3 ホーム画面で、←/↑/↓/→ を押して [USB機器]を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で[ビデオ]、[ミュージック]、または[フォト]カテゴリーを選び、決定ボタンを押してください。

ご注意

データやUSB機器の破損を防ぐために、USB機器を抜き差しするときは、本機の電源を切ってください。

パソコンなどに保存したファイルを本機で見る(ホームネットワーク機能)

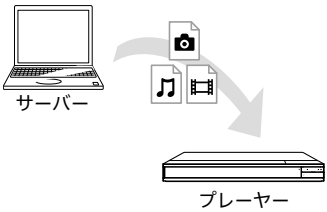
ホームネットワーク対応機器は、他のホームネットワーク対応機器内の動画／音楽／写真をネットワーク経由で再生できます。

ホームネットワーク機能の準備をする。

1 本機をネットワークにつないでください(16ページ)。

2 他の必要なホームネットワーク対応機器を準備してください。機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

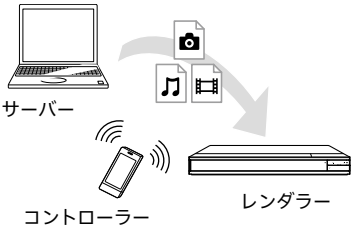
本機を経由してホームネットワークサーバー上のファイルを再生するには(ホームネットワークプレーヤー)



ホーム画面で、[メディアサーバー]から[ビデオ]、[ミュージック]、または[フォト]カテゴリーを選び、再生したいファイルを選んでください。

他の機器を使ってホームネットワークサーバー上のファイルを再生するには（レンダラー）

本機でホームネットワークサーバー上のファイルを再生する場合、ホームネットワークコントローラー対応機器（携帯電話など）を使って再生中の操作ができます。



ホームネットワークコントローラーを使い、操作してください。ホームネットワークコントローラーに付属の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

録画回数制限のあるデジタル放送の番組をホームネットワーク機能を使用して再生するには、他機器側がDTCP-IP*規格に対応している必要があります。

* DTCP-IP（Digital Transmission Content Protection over Internet Protocol）とは、著作権保護を目的として開発されたネットワーク規格です。

ちょっと一言

- 本機が再生できる、ホームネットワークサーバー上にあるファイルの種類については、「再生できるファイルの種類」（42、43ページ）をご覧ください。
- スマートフォン等による遠隔操作は、本機が見える位置からのみ操作を行ってください。

BLUETOOTH®機器で音声を聞く

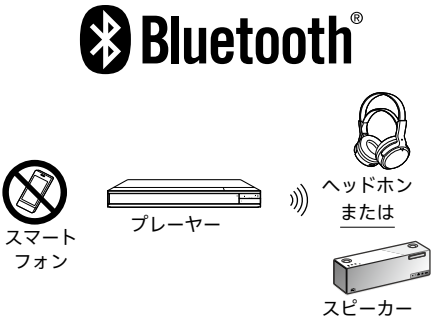
Bluetooth接続を使って、本機からワイヤレス送信した音楽をBluetooth機器で聞くことができます。
はじめて本機と機器をBluetooth接続するときは、ペアリング*（機器登録）が必要です。
Bluetooth機器はあらかじめ本機に登録しておいてください。一度登録すれば、次回からその機器をペアリングする必要はありません。
本機にはBluetooth機器を9台まで登録できます。10台目の機器を登録すると、最も古くペアリングされた機器の登録が削除されます。

* ペアリングとは、接続の前にBluetooth機器同士を互いに登録する操作です。

ご注意

この機能は、Bluetooth対応スピーカーやヘッドホンのみ対応しています。スマートフォンやパソコンの音楽などを受信して、本機で聞くことはできません

例：



Bluetooth機器と接続する

Bluetooth機器と本機をペアリングする前に、［Bluetooth設定］から［Bluetoothモード］を［入］（30ページ）にしてください。

1 相手側のBluetooth機器（以下、Bluetooth機器と表示）を本機の1 m以内に置く。

2 Bluetooth機器の電源を入れ、Bluetooth機能をONにする。

– 初めて接続する機器の場合は、ペアリングモードにしてください。
– Bluetooth機器のペアリングモードの設定については、各機器の取扱説明書をご覧ください。2回目以降の接続は、ペアリングの必要はありません。

3 ホーム画面で←/↑/↓/→を押して[設定]を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓と決定ボタンで[Bluetooth設定] → [機器リスト]を順に選ぶ。

Bluetooth接続可能な機器が表示されます。

5 ↑/↓で機器を選び、決定ボタンを押す。

Bluetooth接続すると、接続した機器の名前がテレビ画面に表示されます。

ちょっと一言

- 再生画面で、リモコンのオプション機能(24ページ) → [Bluetooth機器]でも機器リストが表示できます。
- リモコンのBLUETOOTHボタンを使うと、最後に接続したBluetooth機器にすぐに接続できます。

Bluetooth機器で音声を聞く

「Bluetooth機器と接続する」(22ページ)の設定後、

1 本機で映像や音楽などのコンテンツを再生する。

2 音量を調節する。

最初に、Bluetooth機器の音量を調節します。それでも音量が小さいときは、本機の再生画面表示中にリモコンのオプションを押し、[Bluetooth音量]を選んで音量を調節します。音量を調節するには、↑/↓を押してください。

ご注意

- SCMS-T方式のコンテンツ保護に対応していないBluetooth機器(一部の海外メーカーや輸入品のヘッドホン・スピーカーなど)へは、本機からの音声を出力できません。
- 特定のコンテンツは著作権保護により Bluetooth機器へ音声を 出力できません。
- Bluetooth機器によっては音量を調節できない場合があります。
- 初めから大音量にしたり、長時間にわたって大音量にしないでください。耳を痛めたりオーディオ機器が破損することがあります。
- 本機と接続するBluetooth機器や通信環境、周囲の状況によっては、雑音が入ったり、音が途切れたりすることがあります。

Bluetooth機器の接続を解除する

次の項目のどれかを行ってください。

- リモコンのBLUETOOTHボタンを押す(11ページ)。
- Bluetooth機器のBluetooth機能をオフにする。
- 本機またはBluetooth機器の電源を切る。

ご注意

突然大きな音が出ないよう、Bluetooth機器の接続を解除する前にテレビの音量を下げてください。

Bluetooth機器とHDMI出力の音声を同時に聞く

本機からの音声を、Bluetooth機器とHDMI出力を経由して同時に再生することができます。

この機能を設定するには、次の項目のどれかを行ってください。

- [Bluetooth設定]の[Bluetooth音声出力]を[Bluetooth + HDMI]にする。
- 再生中にリモコンのオプションボタンを押して[Bluetooth音声出力]を選び、次に[Bluetooth + HDMI]を選ぶ。

ご注意

- 同じ音声コンテンツをBluetooth機器とHDMI出力を経由して出力します。
- この機能ではサラウンドをご使用いただけません。
- HDMI音声フォーマットが変わる場合があります。
- HDMI接続とBluetooth接続の間で音声出力のタイミングに遅れが生じます。
- Bluetooth対応のスピーカーが本機から遠くにあったり、別の部屋にあったり、途中に壁があったりする場合は、Bluetooth接続が不安定になります。

さまざまなオプション

オプションボタンを押すと、さまざまな設定や再生中の操作ができます。表示されるオプションは、使用状況によって異なります。

共通オプション

項目	できること
［リピート設定］ *1	リピートモードを設定します。
［再生］／［再生停止］	再生を開始または停止します。
［はじめから再生］	タイトルを始めから再生します。
［Bluetooth音声出力］ *2	Bluetooth接続時に、Bluetooth機器のみからの音声出力と、Bluetooth機器とHDMI出力からの音声出力を切り換えます。
［Bluetooth機器］ *2	Bluetooth機器のリストを表示します。
［Bluetooth音量］ *2	Bluetooth音量調節表示を表示します。Bluetooth機器が接続されているときのみ使えます。

ビデオのみ

項目	できること
［3D出力設定］ *3	3D映像を自動で出力するか設定します。
［画音同期調整］	映像と音声とのずれを補正します。音声出力を映像出力より遅らせます（0 ～ 120ms）。
［情報表示位置］	再生情報の表示位置を画面中央へ調整します。
［字幕移動］	Ultra HD Blu-ray ／ BD ／ DVDの字幕の表示位置を上下に調整します。
［HDR変換］ *4	HDRに対応していないテレビやプロジェクターにつないでいるとき、ハイダイナミックレンジ（HDR）信号をスタンダードダイナミックレンジ（SDR）信号に変換します。大きな値を選ぶとHDRに近い画像になりますが、全体の明るさは暗くなります。
［画質設定］ *3, *5	［画質モード］：視聴環境の明るさに合わせて画質を設定します。 • ［ダイレクト］ • ［明るい部屋］ *6 • ［暗い部屋］ *6 • ［自動］： ノイズリダクション（NR）モードの操作はメディアやコンテンツによって異なります。 • ［カスタム1］／［カスタム2］ ■ ［FNR］：映像に現われるランダムノイズを低減します。 ■ ［BNR］：映像のモザイクのようなブロックノイズを低減します。 ■ ［MNR］：映像の輪郭部の細かいノイズ（モスキートノイズ）を低減します。 ■ ［コントラスト］ ■ ［ブライトネス］ ■ ［色の濃さ］ ■ ［色合い］
［再生一時停止］	再生を一時停止します。
［タイトルサーチ］	Ultra HD Blu-ray ／ BD ／ DVDビデオのタイトルを選んで頭出しします。
［チャプターサーチ］	チャプターを選んで頭出しします。

ビデオとミュージックのみ

項目	できること
[トップメニュー]	Ultra HD Blu-ray／BD／DVDのトップメニューを表示します。
[メニュー]／[ポップアップ]	Ultra HD Blu-ray／BDのポップアップメニューやDVDのメニューを表示します。
[音声切換]	Ultra HD Blu-ray／BD／DVDに音声トラックが複数の言語で記録されている場合、言語を切り換えます。CDでは音声トラックを選べます。
[字幕切換]	Ultra HD Blu-ray／BD／DVDに字幕が複数の言語で記録されている場合、字幕言語を切り換えます。
[映像切換]	Ultra HD Blu-ray／BD／DVDに他のアングルからの映像が記録されている場合、映像を切り換えます。
[数字入力]	リモコンの←/↑/↓/→で番号を選びます。

ミュージックのみ

項目	できること
[トラックサーチ]	音楽CDの再生中にトラック番号で頭出しします。
[スライドショーのBGM登録]	USBメモリー内の音楽ファイルを、スライドショーのBGMに登録します。
[シャッフル設定]	[入]に設定すると、音楽ファイルを順不同に再生します。
[グループサーチ]	DVDオーディオの再生時にグループ番号を選びます。

フォトのみ

項目	できること
[スライドショーの速さ]	スライドショーの速さを設定します。
[スライドショーの効果]	スライドショーの表示方法を設定します。
[スライドショーのBGM] *7	• [切]：BGMを設定しません。 • [My Music（USB)]：[スライドショーのBGM登録]で登録した音楽ファイルをBGMに設定します。 • [音楽CDから再生]：CD-DAのトラックをBGMに設定します。
[2D 再生] *8	2D画像の再生を設定します。
[表示切換]	[グリッド表示]と[リスト表示]を切り換えます。
[表示]	選択した写真を表示します。
[スライドショー]	スライドショーを再生します。
[回転(左)]	写真を左回りに90度回転させます。
[回転(右)]	写真を右回りに90度回転させます。

ご注意

*1 BDJタイトルやHDMVインタラクティブタイトルの再生中は[リピート設定]を使用できません。
*2 ホームネットワーク写真の再生中は、[Bluetooth音声出力]、[Bluetooth機器]および[Bluetooth音量]を使用できません。
*3 [映像設定]の[ドルビービジョン出力]を[入]に設定時は、使用できません。
*4 [HDR変換]は、HDR映像再生時、お使いのディスプレイ機器がHDRディスプレイに対応していないとき、または[映像設定]の[HDR出力]が[切]に設定されているときのみ使えます。
*5 [画質設定]による出力画質は、目で見てはっきりと分からない場合があります。
*6 HDR映像再生時は、[明るい部屋]と[暗い部屋]を使用できません。
*7 ホームネットワーク写真の再生中は[スライドショーのBGM]を使用できません。
*8 [2D再生]は、3D写真の再生時のみ使えます。

本機の設定を変更する

本機の設定を変更したいときは、ホーム画面で [設定]を選んでください。
お買い上げ時の設定は、下線がついている項目です。

1 ホーム画面で←/↑/↓/→を押して [設定]を選び、決定ボタンを押す。

2 ↑/↓を押して設定カテゴリーのアイコンを選び、決定ボタンを押す。

[ソフトウェアアップデート]

■ [ネットワーク経由でアップデート]

ネットワーク経由で本機のソフトウェアを最新の状態にアップデートします。ネットワークがインターネットに接続されていることを確認してください。「3：ネットワークにつなぐ」(16ページ)をご覧ください。

ちょっと一言

インターネットに接続している状態で本機の電源を入れたときにアップデートのお知らせ画面が表示された場合は、画面の指示に従ってアップデートを行ってください。

■ [USBメモリーからアップデート]

USBメモリーを使って本機のソフトウェアを最新の状態にアップデートします。「UPDATE」という名前のフォルダを作成し、全てのアップデート用ファイルがこのフォルダ内に保存されるようにしてください。本機が1 つの階層で認識できるファイル／フォルダ数は、アップデート用のファイル／フォルダを含めて最大500個までです。

ちょっと一言

- 2か月に1回程度を目安にネットワークアップデートの確認を行うことをおすすめします。
- ネットワークの状態が悪いときは、USBメモリーを使って、最新のソフトウェアバージョンをhttps://www.sony.jp/support/bd-player/からダウンロードし、アップデートを行ってください。
  アップデートの情報は、ホームページでご確認いただけます。または、ソニーの相談窓口にご相談ください。
- アップデート時の操作は、必ず本機付属のリモコンをご使用ください。

[映像設定]

■ [BRAVIAモード]

[入]：[ドルビービジョン出力]、[4Kアップコンバート設定]、[画質設定]が最適化されたモードに設定されます。
[切]：お使いのテレビがBRAVIA以外のとき、この設定を選んでください。

■ [HDR出力]

[自動]：再生する映像とテレビ等の映像表示機器の仕様に応じてHDR画像を出力します。再生する映像と映像表示機器の両方ともHDRに対応している場合にHDR画像を出力します。
[切]：再生する画像や接続される映像表示機器に関わらず、SDR画像を出力します。

■ [ドルビービジョン出力]

[入]：4K/Dolby Vision対応機器に接続しているとき、4K/Dolby Vision信号を出力します。
[切]：4K/HDRまたは4K/Dolby Vision対応機器に接続しているとき、自動的にHDR信号を出力します。

ご注意

[入]に設定されている時、3D再生機能はお使いになれません。

■［モニター別画質設定］

［テレビ］：本機がテレビにつながっているとき、この設定を選んでください。
［プロジェクター］：本機がプロジェクターにつながっているとき、この設定を選んでください。

ちょっと一言

選んだ表示タイプに応じて［HDR変換］を調整します。［HDR変換］で同じ設定値を選んでも、画像のダイナミックレンジは異なります。

■［出力映像解像度設定］

通常は［自動］を選んでください。

■［24p出力］

24p対応のテレビにHDMI接続しており、［出力映像解像度設定］が［自動］、［1080p］または［4K］に設定されているときのみ、24pの映像信号を出力します。

［Ultra HD Blu-ray/BD-ROM］

［自動］：24p対応のテレビにHDMI接続しているとき、24 Hzの映像信号を出力します。
［入］：設定を実行します。
［切］：お使いのテレビが24pに対応していないとき、この設定を選んでください。

［DVD-ROM］

［自動］：24p対応のテレビにHDMI接続しているとき、24 Hzの映像信号を出力します。
［切］：お使いのテレビが24pに対応していないとき、この設定を選んでください。

［データコンテンツ］

この機能は、USBメモリーやデータディスクのコンテンツの再生に使えます。
［自動］：24p対応のテレビにHDMI接続しているとき、24 Hzの映像信号を出力します。
［切］：お使いのテレビが24pに対応していないとき、この設定を選んでください。

［ネットワークコンテンツ］

この機能は、ホームネットワークや他のネットワークのコンテンツの再生に使えます。
［自動］：24p対応のテレビにHDMI接続しているとき、24 Hzの映像信号を出力します。
［切］：お使いのテレビが24pに対応していないとき、この設定を選んでください。

■［4Kアップコンバート設定］

［自動1］：4K以外の映像再生時に、4K対応のソニー製機器につないでいるときは2K（1920 × 1080）の映像信号を、ソニー製以外の4K対応機器につないでいるときは4Kの映像信号を出力します。
信号は本機により４Kの映像信号にアップコンバートされます。
［自動2］：4K対応の機器につないでいるとき、4Kの映像信号を自動的に出力します。
［切］：本機能を停止します。

ご注意

- ［自動1］を選んだときにお使いのソニー製機器が見つからない場合は、［自動2］の設定と同じ効果となります。
- 写真／ネットワークサービスの映像再生時にはこの設定にかかわらず常に［自動2］の動作となります。
- 3D映像を3Dで再生するときはこの設定にかかわらず常に［切］の動作となります。
- その他、接続機器や他の設定との組み合わせで、本設定どおりの表示にならないことがあります。

■［HDMI映像出力フォーマット］

［自動］：お使いのテレビの種類に応じて、自動で映像信号の色空間を設定します。
［YCbCr（4:2:2）］：YCbCr 4:2:2の映像信号を出力します。
［YCbCr（4:4:4）］：YCbCr 4:4:4の映像信号を出力します。
［RGB］：RGBの映像信号を出力します。

ご注意

［ドルビービジョン出力］を［入］に設定時は、使用できません。

■［HDMI Deep Color出力］

［自動］：つないだテレビがDeep Colorに対応しているとき、12ビット／10ビットの映像信号を出力します。
［切］：映像が不安定、または色が不自然なとき、この設定を選んでください。

ご注意

［ドルビービジョン出力］を［入］に設定時は、使用できません。

■ [IPコンテンツNR]

[自動] ／ [強] ／ [中] ／ [弱]：インターネットコンテンツの画質を調整します。
[切]：本機能を停止します。

■ [3D出力設定]

[自動]：通常はこの設定にしてください。
[切]：すべての映像を2Dで表示するとき、この設定を選んでください。

ご注意

[ドルビービジョン出力]を[入]に設定時は、使用できません。

■ [3Dテレビ画面サイズ設定]

お使いの3D対応テレビの画面サイズを設定します。

ご注意

[ドルビービジョン出力]を[入]に設定時は、使用できません。

■ [テレビタイプ]

[16:9]：ワイド画面のテレビまたはワイドモード機能が搭載されているテレビとつなぐとき、この設定を選んでください。
[4:3]：画面サイズが4:3でワイドモード機能が搭載されていないテレビとつなぐとき、この設定を選んでください。

■ [画面モード]

[フル]：ワイドモード機能が搭載されているテレビとつなぐとき、この設定を選んでください。ワイドテレビでも4:3映像を常に16:9で表示します。
[ノーマル]：映像の横縦比は維持したまま、映像サイズをテレビの画面サイズに合わせて変更します。

■ [DVDワイド映像表示]

[レターボックス]：ワイド映像を横長のまま表示し、画面の上下は黒く表示します。
[パンスキャン]：ワイド映像の左右を自動的にカットしてテレビ画面全体に表示します。

■ [シネマ変換モード]

[自動]：通常はこの設定にしてください。ビデオ素材とフィルム素材の違いを本機が検出し、自動で素材に合わせた変換方法に切り換えます。
[ビデオ]：記録されている映像素材にかかわらず、常にビデオ素材用の変換方法で映像を変換します。

■ [一時停止モード]

[自動]：通常はこの設定にしてください。動きの大きい被写体の映像がぶれずに表示されます。
[フレーム]：動きの少ない被写体の映像が高い解像度で表示されます。

[音声設定]

■ [デジタル音声出力]

[自動]：通常はこの設定にしてください。本機につないだ機器の状態に応じて音声信号を出力します。
[PCM]：デジタル音声出力(同軸出力)
HDMI出力端子からPCM信号を出力します。つないだ機器から音声が出力されないとき、この設定を選んでください。

ご注意

Bluetooth機器につないでいるときは、本機能が無効になります。Bluetooth接続時は音声フォーマットが変わる場合があります。

■ [DSD Outputモード]

[自動]：(つないだ機器もDSDに対応している場合は)スーパーオーディオCDやDSDファイルを再生しているとき、HDMI出力端子からDSD信号を出力します。
(つないだ機器がDSDに対応していない場合は)スーパーオーディオCDやDSDファイルを再生しているとき、HDMI出力端子からLPCM信号を出力します。
[切]：スーパーオーディオCDやDSDファイルを再生しているとき、HDMI出力端子からPCM信号を出力します。

ご注意

Bluetooth機器につないでいるときは、本機能が無効になります。Bluetooth接続時は音声フォーマットが変わる場合があります。

■ [BD操作音・副音声]

[入]：セカンダリーオーディオやBlu-ray再生中の操作音が含まれるBDを再生するとき、それらを混合して出力します。
[切]：プライマリーオーディオのみ出力します。ビットストリーム(Dolby/DTS)信号をAV アンプに出力したいとき、この設定を選んでください。

ちょっと一言

ビットストリーム(Dolby/DTS)信号を楽しむには、[BD操作音・副音声]を[切]に、[デジタル音声出力]を[自動]に設定してください。

■ [AAC]

[ダウンミックスPCM]：リニアPCM信号に変換(ダウンミックス)して出力します。AACデコーダーを内蔵していないオーディオ機器をつないでいるとき、この設定を選んでください。
[AAC]：AACデコーダー内蔵のオーディオ機器をつないでいるとき、この設定を選んでください。

■ [DTS Neo:6]

[シネマ]：DTS Neo:6シネマモードで、2チャンネルの音源から、擬似的にマルチチャンネル信号をつくりだして、HDMI端子から出力します。マルチチャンネル入力に対応した機器につないでいるとき、この設定が有効です。
[ミュージック]：DTS Neo:6ミュージックモードで、2チャンネルの音源から、擬似的にマルチチャンネル信号をつくりだして、HDMI端子から出力します。マルチチャンネル入力に対応した機器につないでいるとき、この設定が有効です。
[切]：元の音源と同じチャンネル数の信号を、HDMI端子から出力します。

ご注意

[DTS Neo:6]が[シネマ]または[ミュージック]に設定されているとき、[DSEE HX]は[入]に設定できません。

■ [48kHz/96kHz/192kHz PCM]

[48kHz] ／ [96kHz] ／ [192kHz]：デジタル音声出力(同軸)からの信号出力のサンプリング周波数を設定します。

ご注意

機器によっては、[96kHz]および[192kHz]のサンプリング周波数に対応しない場合があります。

■ [DSEE HX]

[入]：音源ファイルを高解像度音源ファイルにアップスケーリングし、失われがちなクリアでハイレンジな音声を再現します。
[切]：本機能を停止します。

ご注意

音源は2チャンネル・44.1/48 kHzでなければなりません。

■ [オーディオDRC]

[自動]：ディスクによって定められたダイナミックレンジで再生します(BD-ROMのみ)。 他のディスクの場合、[入]と同じレベルで再生します。
[入]：小さい音までよく聞こえるようにします。特に、テレビのスピーカーを使って音を聞いているときに効果があります。
[切]：迫力のある音になります。Hi-Fiのスピーカーを使うとさらに効果があります。

■ [ダウンミックス]

[サラウンド]：サラウンド効果のかかった音声信号を出力します。ドルビーサラウンド(プロロジック)またはDTS Neo:6対応のオーディオ機器につないでいるとき、この設定を選んでください。
[ステレオ]：サラウンド効果のかかっていない音声信号を出力します。ドルビーサラウンド(プロロジック)またはDTS Neo:6に対応していないオーディオ機器につないでいるとき、この設定を選んでください。

[Bluetooth 設定]

「Bluetooth®機器で音声を聞く」については、22ページをご覧ください。

■ [Bluetoothモード]

[入]：Bluetooth設定と機能が有効になります。
[切]：Bluetooth設定と機能が無効になります。

■ [機器リスト]

[Bluetoothモード]が[入]になっているときは、ペアリング済および検出されたBluetooth機器のリストが表示されます。

■ [Bluetooth Codec - AAC] / [Bluetooth Codec - LDAC]

この機能は[Bluetoothモード]を[入]にすると使えます。
[入]：AAC/LDACコーデックが有効になります。
[切]：AAC/LDACコーデックが無効になります。

ご注意

この項目は、Bluetooth機器との接続中は選択できません。

ちょっと一言

LDACは、ソニーが開発したハイレゾ音源をBluetooth経由でも伝送可能とする音声圧縮技術です。SBC等の既存Bluetooth向け圧縮技術とは異なり、ハイレゾ音源を低い周波数・低いビット数
へダウンコンバートすることなく処理します*。また極めて効率的な符号化やパケット配分の最適化を施すことで、従来技術比約3倍**のデータ量の送信を可能 とし、これまでにない高音質のBluetooth無線伝送を実現しています。

* DSDフォーマットのコンテンツは除く。
** 990 kbps（96/48 kHz）または909 kbps（88.2/44.1 kHz）のビットレートを選択した場合のSBC（Subband Coding）との比較。

■ [ワイヤレス再生品質]

この機能は、[Bluetoothモード]および[Bluetooth Codec - LDAC]を[入]にすると使えます。無線LANによる映像ストリーミングが不安定なときは、次の設定で[接続優先]を選んでください。無線LAN接続が安定します。
[自動]：データの転送速度を自動的に設定します。
[音質優先]：最も高いデータレートが使われます。音楽を聞くときにおすすめの設定ですが、接続状況がよくないと音声の再生が不安定になることがあります。
[標準]：中データレートが使われます。音質と安定性を両立させます。
[接続優先]：安定性が優先されます。音質は多少劣化しますが接続が安定します。

■ [Bluetooth音声出力]（23ページ）

[Bluetooth]：Bluetooth機器からの音声を出力します。
[Bluetooth + HDMI]：Bluetooth機器とHDMI 出力の両方からの音声を出力します。

[BD/DVD視聴設定]

■ [BD/DVDメニュー言語]

Ultra HD Blu-ray/BD/DVD VIDEOメニューに表示する言語を設定します。
[言語コード指定]を選んだときは、言語コードを入力する画面が表示されます。
「言語コード一覧」（47ページ）を参照して、言語コードを入力してください。

■ [音声言語]

Ultra HD Blu-ray/BD/DVD VIDEOのデフォルトの音声言語を選択します。
[オリジナル]を選ぶとディスクに記録されている優先言語が選ばれます。
[言語コード指定]を選んだときは、言語コードを入力する画面が表示されます。
「言語コード一覧」（47ページ）を参照して、言語コードを入力してください。

■ [字幕言語]

Ultra HD Blu-ray/BD/DVD VIDEOに記録されている字幕の言語を設定します。
[言語コード指定]を選んだときは、言語コードを入力する画面が表示されます。
「言語コード一覧」(47ページ)を参照して、言語コードを入力してください。

■ [BDハイブリッドディスク再生層]

[BD]：BD層を再生します。
[DVD/CD]：DVD層またはCD層を再生します。

■ [BDインターネット接続]

[許可する]：BDコンテンツからのインターネット接続を許可します。
[許可しない]：BDコンテンツからのインターネット接続を禁止します。

■ [BDデータ削除]

USBメモリー内のデータを消去します。buda フォルダー内のすべてのデータが消去されます。

■ [DVD-Audio再生]

[DVD-Audio]：DVDオーディオのコンテンツを再生します。
[DVD-Video]：DVDビデオのコンテンツを再生します。

[視聴年齢制限設定]

■ [暗証番号設定]

視聴制限のための暗証番号を設定または変更できます。暗証番号を設定すると、視聴制限があるUltra HD Blu-ray ／ BD ／ DVDビデオ、およびインターネットビデオの視聴や再生を制限できます。必要に応じて、Ultra HD Blu-ray ／ BD ／ DVDビデオ、およびインターネットビデオに、違う制限レベルを設定できます。

■ [視聴年齢制限使用地域]

Ultra HD Blu-ray ／ BD ／ DVDビデオ、またはインターネットビデオには、住んでいる国や地域によって、シーンの視聴を制限できるものがあります。制限されたシーンをカットしたり、別のシーンに差し換えて再生します。画面の指示にしたがって、4桁の暗証番号を入力してください。

■ [BD視聴年齢制限]

BD-ROMには、見る人の年齢によって、シーンの視聴を制限できるものがあります。制限されたシーンをカットしたり、別のシーンに差し換えて再生します。画面の指示にしたがって、4桁の暗証番号を入力してください。

■ [DVD視聴年齢制限]

DVDビデオには、見る人の年齢によって、シーンの視聴を制限できるものがあります。制限されたシーンをカットしたり、別のシーンに差し換えて再生します。画面の指示にしたがって、4桁の暗証番号を入力してください。

■ [インターネットビデオ利用制限]

[入]：インターネットビデオの利用を制限します。インターネットビデオを利用するには、4桁の暗証番号を入力する必要があります。
[切]：インターネットビデオの利用を制限しません。

■ [インターネットビデオ視聴年齢制限]

インターネットビデオには、見る人の年齢によって、シーンの視聴を制限できるものがあります。制限されたシーンをカットしたり、別のシーンに差し換えて再生します。画面の指示にしたがって、4桁の暗証番号を入力してください。

■ [制限情報無しインターネットビデオ]

[許可する]：視聴年齢制限がないインターネットビデオの再生を許可します。
[許可しない]：視聴年齢制限がないインターネットビデオの再生を禁止します。

[ミュージック設定]

■ [Super Audio CD再生層]

[Super Audio CD]：スーパーオーディオCD層を再生します。
[CD]：CD層を再生します。

■ [Super Audio CD再生チャンネル]

[DSD 2ch]：2チャンネルエリアを再生します。
[DSDマルチ]：マルチチャンネルエリアを再生します。

[本体設定]

■ [システム音]

[入]：ホーム画面操作のビープ音を出力します。
[切]：本機能を停止します。

■ [HDMI機器制御設定]

HDMI対応のソニー製機器をハイスピードHDMIケーブルで接続すると、操作が簡単になります。

[HDMI機器制御]

[入]：以下のブラビアリンク機能を利用できます。
–ワンタッチプレイ
–電源オフ連動
[切]：設定を解除します。

ちょっと一言

詳しくは、テレビまたは接続機器の取扱説明書をご覧ください。ブラビアリンク機能を有効にするには、お使いのテレビをHDMI出力(OUT1)端子を経由してつないでください。

[テレビ電源オフ連動]

[有効]：つないだテレビの電源が切れると、本機の電源が自動的に切れます(ブラビアリンク)。
[無効]：設定を解除します。

■ [HDMI音声出力]

[自動]：機器につながれており、機器の電源が入っているとき、HDMI出力(OUT2)端子を経由して音声信号を出力します。それ以外は、HDMI出力(OUT1)端子を経由して音声信号を出力します。
[HDMI1]：HDMI出力(OUT1)端子を経由して音声信号を出力します。
[HDMI2]：HDMI出力(OUT2)端子を経由して音声信号を出力します。

■ [高速起動モード]

[入]：電源を入れたときの起動時間を短縮します。
[切]：待機時の消費電力を減らします。

■ [自動電源オフ]

[入]：何も操作しないまま20分以上が経過すると、電源が自動的に切れます。
[切]：電源は自動的に切れません。

■ [自動画面表示]

[入]：タイトルが変わるときや、映像モードや音声信号が変わるときに画面上でその情報を自動的に表示します。
[切]：画面表示ボタンが押されたときのみ、情報を表示します。

■ [ソフトウェアアップデート通知]

[入]：ソフトウェアの更新情報をお知らせします(26ページ)。
[切]：ソフトウェアの更新情報をお知らせしません。

■ [機器名]

プレーヤーの名称を表示します。プレーヤーの名称は変更できます。

■ [本体情報]

本機のソフトウェアのバージョンと、MACアドレスを確認できます。

■ [ソフトウェアライセンス]

ソフトウェアライセンスについての情報を表示します。

[通信設定]

■ [ネットワーク設定]

前もって本機をネットワークにつないでください。詳しくは、「3：ネットワークにつなぐ」(16ページ)をご覧ください。
[有線LAN設定]：LANケーブルでルーターに直接つなぐとき、この設定を選んでください。
[無線LAN設定]：本機に内蔵の無線LANでつなぐとき、この設定を選んでください。

ちょっと一言

詳しくは、以下のホームページの「Q&A」をご覧ください。
https://www.sony.jp/support/bd-player/

■ [ネットワークの設定確認]

現在のネットワークの状態を表示します。

■ [ネットワーク接続診断]

ネットワークに正しくつながっているか、接続診断をします。

■ [接続サーバー設定]

接続されているサーバーを表示するか設定します。

■ [ホームネットワーク自動アクセス許可]

[入]：新しく検出されたホームネットワークコントローラー対応機器による自動アクセスを許可します。
[切]：本機能を停止します。

■ [ホームネットワークアクセス制御]

ホームネットワークコントローラー対応製品のリストを表示し、リスト上のコントローラーからのコマンドを受けるかを設定します。

■ [リモート起動]

[入]：ネットワークを経由して連動した機器で本機の電源を入れることができます。
[切]：本機能を停止します。

1·2·3 [かんたん設定]

[かんたん設定]を選び、ネットワークの設定を順に行ってください。画面の指示にしたがってください。

[設定初期化]

■ [出荷時設定に戻す]

本機の設定を各設定ごとにお買い上げ時の設定に戻します。選んだ設定のすべての項目がお買い上げ時の設定に戻るので、ご注意ください。

■ [個人情報の初期化]

本機に保存された個人情報を削除します。

ご注意

本機を廃棄、または他人に譲渡・転売する場合は、安全のために個人情報を削除してください。ネットワークサービスに登録している場合には、事前にサービスのログアウト処理などを行ってください。

困ったときは

本機を使用しているときに問題が起きたら、修理に出す前にこの項を参考にして点検してください。それでも正常に動作しないときは、お近くのソニーの相談窓口(裏表紙)へお問い合わせください。

電源

電源を入れても起動・動作しない。

- 電源コードがしっかり差し込まれているか確認してください。
- リモコンの電池が入っていることを確認してください。本機上の電源 ⏻ ボタンで電源が入るときは、新しい電池をお試しください。
- 電源コードをコンセントから抜き、2分以上待ってから電源コードを差し直し、電源を入れてください。

気がつくと電源ランプが消え、電源が切れている。

- 本機の自動電源オフ機能によって、無操作かつ無信号の状態が20分経過すると自動的に電源が切れます(32ページ)。電源が切れないようにするには、[ホーム] →で [設定] → [本体設定] → [自動電源オフ]の設定を「切」にしてください(32ページ)。

映像

映像が出ない、乱れる。

- HDMIケーブルを抜き、もう一度しっかり差し込み直してください(14ページ)。
- テレビを本機につないでいる入力(「HDMI」など)に切り換えてください。
- 本機の電源を切り、もう一度電源を入れてください。
- テレビなど接続している機器の電源を切り、もう一度電源を入れてください。
- リモコンの■停止ボタン、ホームボタン、ポップアップ/メニューボタンの順に押して、[出力映像解像度設定]を最も低い解像度にリセットしてください。
- 本機の電源コードをコンセントから抜き、2分以上待ってから電源コードを差し直し、電源を入れてください。
- テレビなど接続している機器の電源コードをコンセントから抜き[*1]、差し直して電源を入れてください。

[*1] 手順について詳しくは、テレビなど接続している機器の取扱説明書を参照してください。

- 著作権保護機能に対応していないDVI 機器とHDMI 出力端子をつないでいないか確認してください。
- [映像設定]の[出力映像解像度設定]の設定を確認してください(27ページ)。
- Ultra HD Blu-ray / BD-ROM / DVD-ROM / データコンテンツ/ネットワークコンテンツについては、[映像設定]の[24p 出力]を確認してください(27ページ)。
- 4K出力の場合、プレミアムハイスピードHDMIケーブルまたは18 Gbps対応のハイスピードHDMIケーブルを使って、本機がHDCP2.2に対応するHDMI入力の4Kディスプレイとつながっていることを確認してください。

4K Ultra HDの映像が出ない。

- 以下を確認してください。
  - 本機を18 Gbps対応のプレミアムハイスピードHDMIケーブル(別売)で4K60p対応のテレビにつないでください。
  - ブラビアの場合は、「HDMI信号フォーマット」の設定を調整してください。
    詳しくは、テレビの取扱説明書をご確認ください。
  - 再生しているコンテンツが4K UHD映像であること。

入力信号がありません。ケーブルの接続や機器側の設定などを確認するか、入力切換ボタンで他の入力を選択してください。とメッセージが出る。

- BDプレーヤーの接続以外に設定されている可能性があります。一度リモコンの「ホーム」ボタンを押して、メニューを表示してください。メニューが出ない場合はお問い合わせください。

音声

音が出ない、正しく音が出ない。

- 接続ケーブルのプラグがしっかり差し込まれているか確認してください(15ページ)。
- サウンドバー/ AVアンプから本機の音声が出るようにサウンドバー/ AVアンプの入力を切り換えてください。

- デジタル音声出力端子から音声が出ない場合は、[音声設定]の[デジタル音声出力]が正しいか確認してください(28ページ)。
- HDMI接続のときは、以下を試してください。
  - HDMIケーブルを抜き、もう一度しっかり差し込み直す(14ページ)。
  - 本機の電源を切り、もう一度電源を入れる。
  - テレビなど接続している機器の電源を切り、もう一度電源を入れる。
  - 本機の電源コードをコンセントから抜き、2分以上待ってから電源コードを差し直し、電源を入れる。
  - テレビなど接続している機器の電源コードをコンセントから抜き[*1]、差し直して電源を入れる。
- HDMI接続で、サウンドバー／ AVアンプを通してテレビをつないでいるときは、本機に直接テレビをつないでみてください。サウンドバー／ AVアンプの取扱説明書もご覧ください。
- HDMI出力端子にDVI機器がつながれている(DVI端子は音声信号を受け付けません)。
- HDMI出力端子につないでいる機器が、本機の音声フォーマットに対応しているか確認してください。本機の[音声設定]を確認してください(28ページ)。
- [本体設定]の[HDMI音声出力]設定を確認してください(32ページ)。

HDMI 出力(OUT2)端子に接続しているサウンドバー／ AVアンプから音声が出ない。

- サウンドバー／ AVアンプを通してテレビをつないでいる場合、設定によっては、本機の入力に切り換わらないことがあります。以下を確認してください。
  - HDMIケーブルが、本機のHDMI出力(OUT2)端子から、サウンドバー／ AVアンプのHDMI入力端子に接続しているか確認してください。サウンドバー／ AVアンプのHDMI出力端子に接続しないでください。
  - サウンドバー／ AVアンプ側で本機の入力に切り換えてください。
- 上記を確認して解決しないときは、以下を試してください。
  - サウンドバー／ AVアンプまたはテレビのHDMI機器制御機能の設定を「切」にしてください。「切」にすると、テレビとサウンドバー／ AVアンプのHDMI機器制御機能が使えなくなります[*2]。
  - テレビのARC対応HDMI入力端子にサウンドバー／ AVアンプをつないでいる場合、HDMIケーブルを外してください。この場合、テレビの音がAVアンプから出なくなります[*2]。
- サウンドバー／ AVアンプをHDMI出力(OUT2)端子に接続しているとき、
  - [本体設定]の[HDMI音声出力]を[HDMI2]または[自動]に設定しているか確認してください(32ページ)。

ドルビーデジタルプラスやドルビーTrueHD、DTS-HD High Resolution Audio、DTS-HD Master Audio、ドルビーアトモス[*3]、DTS:X[*4]などのHD音声がビットストリームで出力されない。

- [音声設定]の[BD操作音・副音声]を[切]に設定してください(29ページ)。
- つながれたAVアンプがそれぞれのHD音声フォーマットに対応しているか確認してください。

インタラクティブオーディオ(Blu-ray再生中の操作音)が出力されない。

- [音声設定]の[BD操作音・副音声]を[入]に設定してください(29ページ)。

HDMI接続時に、AAC音声がLPCMで出力される。

- AAC音声出力はBDAV (放送録画コンテンツ)のみへ対応しております。
- [音声設定]の[デジタル音声出力]を[自動]に設定してください。
- [音声設定]の[AAC]を[AAC]に設定してください。
- 接続しているテレビやAVアンプなどがAACに対応しているか確認し、接続機器の仕様や設定を確認してください。

ディスクを再生したときに、コード3［音声出力を一時的に停止しました。音量を調整しないでください。このタイトルはCinaviaで保護されているため本機での再生が禁止されています。詳しい情報は、http://www.cinavia.comをご覧ください。コード：3］というメッセージが画面に表示される。

- 本機はCinavia技術を利用して、商用制作された映画や動画、そのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています（46ページ）。

*1 手順について詳しくは、テレビなど接続している機器の取扱説明書を参照してください。

*2 テレビの音を出力するには、テレビとサウンドバー／ AVアンプを光デジタルケーブル（別売）でつないでください。

*3 ドルビーアトモスはドルビーラボラトリーズの商標です。

*4 DTS:X is a registered trademark and/or trademark of DTS, Inc. in the United States and/or other countries.

ディスク

ディスクを再生できない。

- ディスクが汚れていないか、または歪んでいないか確認してください。
- ディスクが裏返しになっていないか確認してください。再生面を下にしてください。
- 本機で再生できるフォーマットのディスクか確認してください（41、42ページ）。
- 本機は、他機で記録や録画されたディスクで正しくファイナライズ処理されていないものや、マスターディスクフォーマットでないディスクを再生できません（41ページ）。
- BD/DVD の地域番号（リージョンコード）が本機で再生できる番号か確認してください。また、同じ地域番号でも、異なる映像方式で記録された映像は出力できません（41ページ）。

USB機器

つながれたUSB機器が認識されない。

- USB機器が正しくUSB端子につながれているか確認してください。
- USB機器が破損していたり、USBケーブルが傷んだりしていないか確認してください。
- USB機器の電源が入っているか確認してください。
- USBハブを通してUSB機器をつないでいる場合、本機に直接USB機器をつないでみてください。

インターネットストリーミング

画質または音質が悪い。動きが速いシーンまたは暗いシーンなどで、画面の細部が見えない。

- 標準画質の映像を再生するには、（サービスプロバイダーにもよりますが）2.5Mbps以上、ハイビジョンの映像を再生するには10Mbps以上、Ultra HD映像を再生するには25Mbps以上の通信速度をおすすめします。

Bluetooth機器にLDAC接続している場合は、Wi-Fiを経由したインターネットストリーミングが不安定になります。

- ［Bluetooth設定］の［ワイヤレス再生品質］を［接続優先］に設定してください（30ページ）。

インターネットストリーミング中はオプションメニューはありません。

- インターネットストリーミング中はオプションメニューをご使用いただけません。

ネットワーク接続

本機がネットワークにつながらない。

- ネットワークの接続を確認し（16ページ）、設定を確認してください（33ページ）。

[Wi-Fi Protected Setup™ (WPS)]を行ったあと、コンピューターがインターネットにつながらない。

- ルーターを調整する前にWPS（プッシュボタン方式）を使用した場合、ルーターの無線LAN設定が自動的に変わる場合があります。この場合、お使いのパソコンの無線LAN設定を変更してください。

本機を無線LANルーターに接続できない。

- 無線LANルーターの電源が入っているか確認してください。
- 本機と無線LANルーターを近づけてください。
- 電子レンジ、他のBluetooth機器またはデジタルコードレス機器など、2.4 GHzの周波数帯を使用する機器から本機を遠ざけるか、これらの機器の電源を切ってください。

ご希望の無線LANルーターが無線LANネットワークリストに表示されない。

- 戻るボタンを押してひとつ前の画面に戻り、もう一度無線LAN設定を行ってください。それでもご希望の無線LANルーターが検出されない場合は、[新しい接続先の登録]を選んで[手動登録]を行ってください。

本機の電源を入れると、[ネットワーク上に新しいソフトウェアバージョンが見つかりました。「ソフトウェアアップデート」からアップデートを行ってください。]というメッセージが表示される。

- 新しいソフトウェアバージョンに更新するため、[ソフトウェアアップデート]（26ページ）をご覧ください。

Bluetooth接続

Bluetooth接続ができない／完了しない。

- [Bluetoothモード]を[入]に設定してください（30ページ）。
- 接続しようとしているBluetooth機器の電源が入っていること、Bluetooth機能が有効になっていることを確認してください。
- Bluetooth機器を本機に近づけてください。
- もう一度本機とBluetooth機器を接続してください。最初にBluetooth機器を使って本機との接続を解除しなくてはならない場合もあります。
- 機器リストおよび接続した機器からペアリング情報を削除し、もう一度接続を試してください。
- 本機の近くに他のBluetooth機器があるときは接続できないこともあります。その場合は、他のBluetooth機器の電源を切ってください。
- 接続登録情報が消えている場合があります。もう一度ペアリング操作を行ってください。

音が出ない、音が途切れたりゆれる、接続が切れる。

- DRMのため、Bluetooth機器を経由してDVDオーディオを再生することができません。
- Bluetooth機器を本機に近づけてください。
- 本機がWi-Fiネットワーク、その他2.4 GHzワイヤレス機器または電子レンジの干渉を受けていないか確認してください。
- 本機とBluetooth機器を正しく接続しているかどうか確認してください。
- もう一度本機とBluetooth機器を接続してください。
- 本機を金属製のものや表面から遠ざけてください。

HDMI機器制御（ブラビアリンク）

[HDMI機器制御]機能が働かない（ブラビアリンク）。

- お使いのテレビがHDMI出力（OUT1）端子を経由してつながっているか確認してください。
- [HDMI機器制御設定]の[HDMI機器制御]が[入]になっているか確認してください（32ページ）。
- HDMI接続を変更したときは、本機の電源を切り、もう一度電源を入れてください。
- 停電があったときは、[HDMI機器制御設定]の[HDMI機器制御]を一度[切]にし、その後[入]に再設定してください（32ページ）。
- 以下を確認してください。
  - 接続機器が[HDMI機器制御]機能に対応している。
  - 接続機器の[HDMI機器制御]機能の設定が正しい。

- サウンドバー／ AVアンプを通して本機にテレビをつないでいるとき、
  - ［HDMI機器制御］に対応していないサウンドバー／ AVアンプを通してテレビにつなぐと、正しく機能が働かない場合があります。
  - HDMI接続を変更したり、電源コードを抜き差ししたり、停電があったりした場合、以下を試してください。①本機の再生映像がテレビに映るようにサウンドバー／ AVアンプの入力を切り換えてください。②［HDMI機器制御設定］の［HDMI機器制御］を一度［切］にし、その後［入］に設定してください（32ページ）。お使いのサウンドバー／ AVアンプの取扱説明書もご覧ください。

電源オフ連動が働かない（ブラビアリンク）。

- ［HDMI機器制御設定］の［HDMI機器制御］が［入］かつ［テレビ電源オフ連動］が［有効］になっているか確認してください（32ページ）。

その他

再生が最初から始まらない。

- オプションボタンを押して、［はじめから再生］を選んでください。

再生が前回停止した位置から始まらない。

- 以下の場合、ディスクによってはつづき再生が解除されます。
  - ディスクトレイを開けたとき
  - USB機器を取りはずしたとき
  - ほかのコンテンツを再生したとき
  - 本機の電源を切ったとき

ディスクを再生したときに、コード1［再生を停止しました。このタイトルはCinaviaで保護されているため本機での再生が禁止されています。詳しい情報は、http://www.cinavia.comをご覧ください。コード：1］というメッセージが画面に表示される。

- 再生中の動画の音声トラックには、業務用設備による上映のみを対象とし、消費者による再生が許可されていないことを示すCinaviaコードが含まれています（46ページ）。

本体の⏏開／閉ボタンを押してもディスクトレイが開かない。

- チャイルドロック機能により、ディスクトレイがロックされているいる可能性があります。解除するには、本機の電源が入った状態で、リモコンの■停止ボタン、ホームボタン、トップメニューボタンの順に押してください（12ページ）。
- 以下を試してください。①電源を切ってAC電源コードを抜いてください。②本体の⏏開／閉ボタンを押しながらAC電源コードをつなぎ直してください。③ディスクトレイが開いたら⏏開／閉ボタンをはなしてください。④ディスクを取り出してください。
- インターネットストリーミング（Netflixなど）中は、⏏開／閉ボタンを押してもディスクトレイの開閉はできません。

⏏開／閉ボタンを押すと、［トレイがロックされています。］というメッセージが画面に表示される。

- ソニーの相談窓口にご相談ください。

本機が正常に動作しない。

- 本機の電源コードをコンセントから抜き、2分以上待ってから電源コードを差し直し、電源を入れてください。
- 設定初期化をすることで、問題が解決することがあります（33ページ）。
- 本機の内部が結露していることがあります。結露がなくなるまで、そのまま放置してください（8ページ）。

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や映像方式の異なる海外ではお使いになれません。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- 記録内容（コンテンツ）については、保証の対象外です。
- 当社にて記録内容（コンテンツ）の修復、復元、複製などは行いません。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックとご相談を

「困ったときは」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。

それでも具合が悪いときはソニーの相談窓口へ

ソニーの相談窓口（裏表紙）へご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 型名：UBP-X800M2
- ディスクの種類：Ultra HD BD、BD-ROM、DVDビデオ、BD-RE、BD-R、DVD-RW、DVD-Rなど
- つないでいるテレビやAVアンプのメーカーと型名
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 購入年月日：

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではUltra HD Blu-ray™／DVDプレーヤーの補修用性能部品（別売）（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後最低8年間保有しています。
ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

主な仕様

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

システム

形式	Ultra HD Blu-ray™／DVDプレーヤー

入力／出力端子

端子名	端子の種類／出力レベル／負荷インピーダンス
デジタル音声出力(同軸)	ピンジャック／ 0.5 Vp-p ／ 75 Ω
HDMI出力(OUT 1*/2)	19ピン標準コネクター * 映像出力に対応しているのはHDMI出力(OUT1)のみです。
LAN（10/100)端子	10BASE-T/100BASE-TX
USB端子	A タイプ(USBメモリー、メモリーカードリーダー、デジタルスチルカメラ、およびデジタルビデオカメラ接続用）* * 充電に使用しないでください。

無線LAN

無線LAN規格	プロトコルIEEE802.11a/b/g/n
周波数帯	2.4 GHz、5 GHz帯
変調方式	DSSSおよびOFDM

Bluetooth

通信方式	Bluetooth標準規格 Ver. 4.1
出力	Bluetooth標準規格Power Class 1
最大通信距離	見通し距離約30 m
使用周波数帯域	2.4 GHz
変調方法	FHSS
対応Bluetoothプロファイル	A2DP v1.2、AVRCP v1.3
対応コーデック	SBC、AAC、LDAC
伝送帯域(A2DP)	• 20 Hz ～ 40,000 Hz（LDAC 96kHzサンプリング、990kbps 時) • 20 Hz - 20,000 Hz（44.1kHzサンプリング時)

電源・その他

電源	定格入力：AC 100 V、50/60 Hz
消費電力	15 W
最大外形寸法	430 mm × 265 mm × 50 mm (幅×奥行き×高さ)最大突起含む
本体質量	約3.8 kg
許容動作温度	5 ℃ ～ 35 ℃
許容動作湿度	25 % ～ 80 %

再生できるディスク

BD[*1]	Ultra HD Blu-ray BD-ROM BD-R[*2]/BD-RE[*2]
DVD[*3]	DVD-ROM DVD-R/DVD-RW DVD+R/DVD+RW DVD AUDIO[*4]
CD	CD-DA（音楽CD） CD-ROM CD-R/CD-RW スーパーオーディオCD

[*1] BDは新しい規格で日々進化を続けているため、ディスクの種類やバージョンによっては再生できない場合があります。
音源や出力端子、音声設定などにより出力される音質が異なります。

[*2] 本製品はVer.2.1のBD-RE、Ver.1.1、Ver.1.2およびVer.1.3のBD-R（LTHを含む）に対応しています。パソコンで記録したBD-Rを本機で再生するには、追記不可能な状態で書き込まれている必要があります。

[*3] AVCREC方式やHD Rec規格で記録されたDVDは再生できません。

[*4] DVDオーディオによっては隠しグループがあり、パスワードの入力が必要です。パスワードについては、ディスクを参照してください。

再生できないディスク

- カートリッジ型BD
- BDXL
- DVD-RAM
- HD DVD
- フォトCD
- CD EXTRAのデータ部分
- スーパー VCD
- DualDiscの音楽専用面

ディスクについてのご注意

本機は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠したディスクの再生を前提として設計されています。DualDisc及び著作権保護技術を採用する一部の音楽ディスクはコンパクトディスク（CD）規格に準拠していないことから、本製品では再生できない場合があります。

Ultra HD Blu-ray ／ BD ／ DVD再生時の操作について

Ultra HD Blu-ray/BD/DVD再生時の操作は、ソフトウェアで決められている場合があります。本機はUltra HD Blu-ray/BD/DVDのソフトウェアにしたがって再生するため、いくつかの機能が使えないことがあります。

2層Ultra HD Blu-ray ／ BD ／ DVDや3層Ultra HD Blu-rayの再生について

レイヤー（層）が切り換わるときに映像および音声が一瞬途切れることがあります。

リージョンコードについて（BD ／ DVDビデオのみ）

本機は、本体後面のラベルに記載されたものと同じリージョンコードのBD ／ DVDビデオのみ再生できます。また がついているDVDビデオも再生できます。

レコーダーやパソコンで記録したCDまたはDVDについて

本機で再生するには、終了情報を記録するファイナライズ処理がされていることが必要です。詳しくは、記録した機器の取扱説明書をご覧ください。

再生できるファイルの種類

ビデオ

フォーマット	コンテナ	拡張子	音声付
MPEG-1 Video[*1]	PS	.mpg, .mpeg	Dolby Digital, DTS, LPCM, MPEG
	MKV	.mkv	Dolby Digital, LPCM, AAC, MP3, Vorbis
MPEG-2 Video[*2]	PS[*3]	.mpg, .mpeg	Dolby Digital, DTS, LPCM, MPEG
	TS[*4]	.m2ts, .mts	Dolby Digital, DTS, LPCM, MPEG, AAC
	MKV[*1]	.mkv	Dolby Digital, LPCM, AAC, MP3, Vorbis
Xvid	AVI	.avi	Dolby Digital, LPCM, WMA9, MP3
	MKV	.mkv	Dolby Digital, LPCM, AAC, MP3, Vorbis
MPEG4/AVC/ H.264[*5]	MKV[*1]	.mkv	Dolby Digital, LPCM, AAC, MP3, Vorbis
	MP4[*1]	.mp4, .m4v	AAC
	TS[*1]	.m2ts, .mts	Dolby Digital, DTS, LPCM, MPEG, AAC
	Quick Time	.mov	Dolby Digital, LPCM, AAC, MP3
	FLV	.flv, .f4v	LPCM, AAC, MP3
	3gpp/ 3gpp2	.3gp, .3g2, .3gpp, .3gp2	AAC
VC1[*1]	TS	.m2ts, .mts	Dolby Digital, DTS, LPCM, MPEG, AAC
	MKV	.mkv	Dolby Digital, LPCM, AAC, MP3, Vorbis
WMV9[*1*6]	ASF	.wmv, .asf	WMA9, WMA 10 Pro
	MKV	.mkv	Dolby Digital, LPCM, AAC, MP3, Vorbis
Motion JPEG	Quick Time	.mov	Dolby Digital, LPCM, AAC, MP3
	AVI	.avi	Dolby Digital, LPCM, AAC, MP3
HEVC/H.265[*7]	MKV	.mkv	Dolby Digital, LPCM, AAC, MP3, Vorbis
	MP4	.mp4, .m4v	AAC
	TS	.m2ts, .mts	Dolby Digital, DTS, LPCM, MPEG, AAC
VP6	FLV	.flv	MP3
VP8/VP9	Webm	.webm	Vorbis
	MKV	.mkv	Dolby Digital, LPCM, AAC, MP3, Vorbis

フォーマット
AVCHD（Ver.2.0） [*1*8*9*10]

ミュージック

フォーマット	拡張子
MP3（MPEG-1 Audio Layer III）*11	.mp3
AAC/HE-AAC*1*11	.m4a, .aac
WMA9 Standard*1	.wma
WMA 10 Pro*12	.wma
LPCM*11	.wav
FLAC*1	.flac, .fla
Dolby Digital*11*13	.ac3
DSF*1	.dsf
DSDIFF*1*14	.dff
AIFF*1	.aiff, .aif
ALAC*1	.m4a
Vorbis	.ogg
Monkey's Audio	.ape

フォト

フォーマット	拡張子
JPEG	.jpeg, .jpg, .jpe
PNG	.png*15
GIF	.gif*15
MPO	.mpo*13
BMP	.bmp*13
WEBP	.webp*13

*1 本機は、ホームネットワークサーバー上にあるこのフォーマットを再生できない場合があります。
*2 ホームネットワークサーバー上にあるビデオは標準画質の映像のみ再生できます。
*3 本機は、ホームネットワークサーバー上にあるDTSファイルを再生できません。
*4 本機は、ホームネットワークサーバー上にあるDolby Digitalファイルのみ再生できます。
*5 本機はMain/Highプロファイルのレベル5.2までのMPEG4/MPEG-4 AVCフォーマットに対応しています。
*6 本機は Advance ProfileまでのWMV9フォーマットに対応しています。
*7 本機はMain/Main10プロファイルのレベル5.1までのHEVC/H.265フォーマットに対応しています。
*8 本機は60fpsまでのAVCHDフォーマットに対応しています。
*9 本機はデジタルビデオカメラなどで記録されたAVCHD規格の映像を再生できます。AVCHD規格で記録されたディスクを再生するには、正しくファイナライズ処理がされていることが必要です。
*10 本機は、AVCHD 3Dフォーマットを再生できます。
*11 本機は「.mka」ファイルを再生できます。このファイルはホームネットワークサーバー上では再生できません。
*12 本機は、ロスレスなどでエンコードされたファイルは再生できません。
*13 本機は、ホームネットワークサーバー上にあるこのフォーマットを再生できません。
*14 本機は、DSTエンコードされたファイルは再生しません。
*15 アニメーションPNGまたはアニメーションGIFファイルは再生できません。
*16 3D以外のMPOファイルは、キー画像または最初の画像が表示されます。
*17 本機は、16ビットBMPファイルに対応していません。

ちょっと一言

本機はHDR10、HLG（Hybrid Log Gamma）、Dolby VisionなどのHDR映像フォーマットに対応しています。

ご注意

- ファイルのフォーマットや圧縮状況、録画状態、またはホームネットワークサーバーの状態によって再生できないことがあります。
- 対応フォーマットは、つなぐ機器やネットワークサービスによって異なります。
  詳しくは、つないだ機器やコンテンツのフォーマット情報をご確認ください。
- パソコンで記録や編集したファイルは再生できないことがあります。
- ファイルによっては、早送りまたは早戻しができないことがあります。
- 本機は、DRMなどでエンコードされたファイルは再生できません。
- 本機はBD/DVD/CDまたはUSB機器内の、以下のファイルおよびフォルダーを認識します：
  – ルートフォルダーを含め、9階層目までのフォルダー
  – 1つの階層にある500番目までのファイル／フォルダー
- 本機はホームネットワークサーバー内の、以下のファイルおよびフォルダーを認識します：
  – 19階層目までのフォルダー
  – 1つの階層にある999番目までのファイル／フォルダー
- 本機は、以下のフレームレートに対応しています。
  – AVCHD（MPEG4/AVC）は60fps以下
  – 他のビデオコーデックは30fps以下

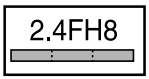
- 本機は、40Mbpsまでのビットレートに対応しています。
- USB機器によっては、本機で再生できないことがあります。
- 本機は、マスストレージクラス（MSC）機器（フラッシュメモリーやハードディスクドライブなど）、静止画像キャプチャデバイスクラス（SICD）機器、および101キーボードを認識します。
- データCD上の高ビットレートのビデオファイルやオーディオファイルは、なめらかに再生できないことがあります。

本機の無線通信について

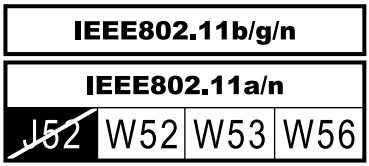
本製品の使用周波数は2.4GHz 帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。ソニーの相談窓口については、本取扱説明書の裏表紙をご覧ください。

この無線機器は2.4 GHz 帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式及びOFDM 方式を採用し、与干渉距離は40 m 以下です。



この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は80 mです。



IEEE 802.11a/b/g/n準拠（W52/W53/W56）

著作権／商標について

- 本機は、無許諾のUltra HD Blu-ray/DVD（海賊版等）の再生を制限する機能を搭載しており、このようなディスクを再生することはできません。
- OracleとJavaは、Oracle及びその関連会社の登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標である場合があります。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
  Dolby、ドルビー、Dolby Vision、Dolby Audio およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- For DTS patents, see http://patents.dts.com. Manufactured under license from DTS, Inc. DTS, the Symbol, DTS and the Symbol together, DTS-HD, and the DTS-HD logo are registered trademarks and/or trademarks of DTS, Inc. in the United States and/or other countries. © DTS, Inc. All Rights Reserved.
- HDMI®、High-Definition Multimedia Interface、プレミアムハイスピードHDMIケーブル、およびHDMIロゴ は、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- Blu-ray Disc™、Blu-ray™、BD-Live™、BONUSVIEW™及びUltra HD Blu-ray™のワードマークとロゴは、Blu-ray Disc Association の商標です。
- Blu-ray 3D™及びBlu-ray 3D™ロゴは、Blu-ray Disc Associationの商標です。
- “DVD ロゴ”はDVD Format/Logo Licensing Corporationの商標です。
- “DVD+RW”、“DVD-RW”、“DVD+R”、“DVD-R”、“DVDビ デオ”、“スーパーオーディオCD” および“CD” のロゴは商標です。
- “ブラビアリンク”および“BRAVIA Link™”は、ソニー株式会社の商標です。
- 本機はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- この製品はVerance Corporation（ベランス・コーポレーション）のライセンス下にある占有技術を含んでおり、その技術の一部の特徴は米国特許第7,369,677号など、取得済みあるいは申請中の米国および全世界の特許や、著作権および企業秘密保護により保護されています。
  CinaviaはVerance Corporationの商標です。
  Copyright 2004-2010 Verance Corporation.
  すべての権利はVeranceが保有しています。リバース・エンジニアリングあるいは逆アセンブルは禁じられています。

- Windows Mediaは米国および／またはその他の国におけるMicrosoft Corporationの登録商標または商標です。
  本製品は、Microsoft Corporationが有する特定の知的財産権によって保護されています。MicrosoftおよびMicrosoft関連会社から使用許諾を得ることなく、この技術を本製品以外で使用または頒布することは禁じられています。コンテンツ所有者は、Microsoft PlayReady™のコンテンツアクセス技術を利用して、著作権保護コンテンツ等の知的財産を保護しています。本機はPlayReadyで保護されたコンテンツおよび／またはWMDRMで保護されたコンテンツへのアクセスにPlayReady技術を利用しています。本機がコンテンツの利用を正しく制限しない場合、コンテンツ所有者は、PlayReadyで保護されたコンテンツを利用する機器の能力を取り消すようMicrosoftに要求することができます。この取り消しにより、著作権保護されていないコンテンツまたは他のコンテンツアクセス技術で保護されたコンテンツに影響が及ぶことはありません。コンテンツ所有者は、自らのコンテンツへのアクセスに際し、PlayReadyのアップグレードを要求する場合があります。アップグレードを拒否した場合は、アップグレードが要求されるコンテンツにアクセスできないようになります。
- Vewd® Core. Copyright 1995-2019 Vewd Software AS. All rights reserved.
  And right expression: This software is being provided on an <<as is>> basis.
  Vewd and its suppliers disclaim all warranties regarding the software, either express or implied, statutory or otherwise, including without limitation warranties of functionality, fitness for a particular purpose or noninfringement.
- WPA™、WPA2™およびWi-Fi Protected Setup™は、Wi-Fi Allianceの商標です。
- Wi-Fi CERTIFIEDロゴは、Wi-Fi Allianceの認証マークです。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、ソニーグループ株式会社及びその子会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- LDAC™およびLDACロゴは、ソニー株式会社の商標です。
- “DSEE HX”はソニー株式会社の商標です。
- その他すべての商標は、各社が所有する商標です。

- 本製品は下記URLに掲載されているHEVC特許の1つ以上の請求項の権利範囲に含まれています。
  patentlist.accessadvance.com

- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは省略している場合があります。

著作権保護について

Ultra HD Blu-ray™、Blu-ray Disc™およびDVDメディアでは、次世代コンテンツ保護技術が使用されています。AACS（Advanced Access Content System）やCSS（Content Scramble System）と呼ばれる著作権保護技術により、再生やアナログ出力に制限がかけられます。AACSの団体が本製品の購入日以降に制限に関する規定を制定または改訂することがあるため、本製品の操作および制限の内容は購入日により異なる場合があります。

Cinaviaの通告

この製品はCinavia技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピーが中断されます。

Cinavia技術に関する詳細情報は、http://www.cinavia.comのCinaviaオンラインお客様情報センターで提供されています。Cinaviaについての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USAまではがきを郵送してください。

ソフトウェアライセンス

ソフトウェア使用許諾契約については、本機に付属のソフトウェア使用許諾契約書をご覧ください。

製品を使用すると、本契約に同意したものと見なされます。

他のソフトウェアライセンスに関する詳細情報は、［設定］を選び、［本体設定］の［ソフトウェアライセンス］をご参照ください。

本製品には、以下のGNU General Public License（以下「GPL」とします）または、GNU Lesser General Public License（以下「LGPL」とします）の適用を受けるソフトウェアが含まれています。お客様は添付のGPLまたはLGPLの条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。本機で使用するソースコードはGPLおよびLGPLの適用対象であり、Webで提供しています。ダウンロードする際には、以下のホームページにアクセスしてください。

https://oss.sony.net/Products/Linux

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

プライバシーポリシー

プライバシーポリシーについては、各ネットワークサービスアイコンのオプションメニューの［プライバシーポリシー］をご覧ください。

本製品に搭載され、または本製品で利用可能なネットワークサービス、コンテンツおよびソフトウェアには、各々の利用条件が適用されます。予告なく提供が中断・終了し、内容が変更され、ご利用に際して別途の登録や料金の支払いが必要になる場合がありますので、ご了承ください。

言語コード一覧

詳しくは、［BD/DVD視聴設定］(30ページ)をご覧ください。
言語名表記はISO639 : 1988（E/F）に準拠しています。

コード	言語
1027	Afar
1028	Abkhazian
1032	Afrikaans
1039	Amharic
1044	Arabic
1045	Assamese
1051	Aymara
1052	Azerbaijani
1053	Bashkir
1057	Byelorussian
1059	Bulgarian
1060	Bihari
1061	Bislama
1066	Bengali
1067	Tibetan
1070	Breton
1079	Catalan
1093	Corsican
1097	Czech
1103	Welsh
1105	Danish
1109	German
1130	Bhutani; Dzongkha
1142	Greek
1144	English
1145	Esperanto
1149	Spanish
1150	Estonian
1151	Basque
1157	Persian
1165	Finnish
1166	Fiji
1171	Faroese
1174	French
1181	Frisian
1183	Irish
1186	Scots Gaelic
1194	Galician
1196	Guarani
1203	Gujarati
1209	Hausa
1217	Hindi
1226	Croatian
1229	Hungarian
1233	Armenian
1235	Interlingua
1239	Interlingue
1245	Inupiak
1248	Indonesian
1253	Icelandic
1254	Italian
1257	Hebrew
1261	Japanese
1269	Yiddish
1283	Javanese
1287	Georgian
1297	Kazakh
1298	Greenlandic; Kalaallisut
1299	Cambodian; Khmer
1300	Kannada
1301	Korean
1305	Kashmiri
1307	Kurdish
1311	Kirghiz
1313	Latin
1326	Lingala
1327	Laothian; Lao
1332	Lithuanian
1334	Latvian
1345	Malagasy
1347	Maori
1349	Macedonian
1350	Malayalam
1352	Mongolian
1353	Moldavian
1356	Marathi
1357	Malay
1358	Malese; Maltese
1363	Burmese
1365	Nauru
1369	Nepali
1376	Dutch
1379	Norwegian
1393	Occitan
1403	Oromo
1408	Oriya
1417	Punjabi; Panjabi
1428	Polish
1435	Pashto; Pushto
1436	Portuguese
1463	Quechua
1481	Rhaeto-Romance
1482	Kirundi; Rundi
1483	Romanian
1489	Russian
1491	Kinyarwanda
1495	Sanskrit
1498	Sindhi
1501	Sangho; Sango
1502	Serbo-Croatian
1503	Singhalese; Sinhalese
1505	Slovak
1506	Slovenian
1507	Samoan
1508	Shona
1509	Somali
1511	Albanian
1512	Serbian
1513	Siswati; Swati
1514	Sesotho; Sotho southern
1515	Sundanese
1516	Swedish
1517	Swahili
1521	Tamil
1525	Telugu
1527	Tajik
1528	Thai
1529	Tigrinya
1531	Turkmen
1532	Tagalog
1534	Setswana; Tswana
1535	Tonga; Tonga islands
1538	Turkish
1539	Tsonga
1540	Tatar
1543	Twi
1557	Ukrainian
1564	Urdu
1572	Uzbek
1581	Vietnamese
1587	Volapük
1613	Wolof
1632	Xhosa
1665	Yoruba
1684	Chinese
1697	Zulu
1703	無指定

視聴年齢制限／地域コード

詳しくは、［視聴年齢制限使用地域］(31ページ)をご覧ください。

コード、地域		コード、地域	
2044,	Argentina	2333,	Luxembourg
2047,	Australia	2363,	Malaysia
2046,	Austria	2362,	Mexico
2057,	Belgium	2376,	Netherlands
2070,	Brazil	2390,	New Zealand
2090,	Chile	2379,	Norway
2092,	China	2427,	Pakistan
2093,	Colombia	2424,	Philippines
2115,	Denmark	2428,	Poland
2165,	Finland	2436,	Portugal
2174,	France	2489,	Russia
2109,	Germany	2501,	Singapore
2200,	Greece	2149,	Spain
2219,	Hong Kong	2499,	Sweden
2248,	India	2086,	Switzerland
2238,	Indonesia	2543,	Taiwan
2239,	Ireland	2528,	Thailand
2254,	Italy	2184,	United Kingdom
2276,	Japan		
2304,	Korea		

索引

あ行
［映像設定］ 26
［音声切換］ 25
［音声設定］ 28

か行
［画質設定］ 24
［高速起動モード］ 32

さ行
［視聴年齢制限設定］ ... 31
［自動電源オフ］ 32
［字幕切換］ 12, 25
［シャッフル設定］ 25
スーパーオーディオCD 32, 41
［スライドショー］ 25
［設定］ 19
［設定初期化］ 33
［ソフトウェアアップデート］ 26

た行
［タイトルサーチ］ 24
チャイルドロック 12
［チャプターサーチ］ ... 24
［通信設定］ 33
つづき再生 12, 38
［デジタル音声出力］ 28
［テレビタイプ］ 28
［テレビ電源オフ連動］ 32
電源オフ連動 32
トップメニュー 12, 25
［ドルビービジョン出力］ 26

な行
［ネットワーク設定］ ... 33

は行
ファイナライズ 36, 41, 43
ブラビアリンク 32, 37
ホーム画面 19
［本体設定］ 32

ま行
［ミュージック設定］ ... 32
無線LAN 9, 17
［メディアサーバー］ 19, 21

ら行
リージョンコード 41
［リピート設定］ 24
リモコン 11
ルーター 16, 33

わ行
ワンタッチプレイ 32

数字
［24p出力］ 27
［3D出力設定］ 24, 28
［3Dテレビ画面サイズ設定］ 28
［4Kアップコンバート設定］ 27

アルファベット
［BD/DVD視聴設定］ 30
BD-R/BD-RE 41
BD-ROM 41
［Bluetooth 設定］ 30
［BRAVIAモード］ 26
CD-DA 41
CD-R/CD-RW 41
CD-ROM 41
［DSD Outputモード］ 28
［DSEE HX］ 29
DVD-R/DVD-RW 41
DVD+R/DVD+RW 41
DVD-ROM 41
［HDMI Deep Color出力］ 27
［HDMI映像出力フォーマット］ 27
［HDMI機器制御］ 32, 37
［HDR出力］ 26
［HDR変換］ 24
MACアドレス 32
Ultra HD Blu-ray 41
USB 21
［USB機器］ 19

お問い合わせの前に

もう一度下記の内容をご確認ください。

- **「困ったときは」で調べる(34ページ)**
  困ったときや故障と思ったときの解決法を確認できます。
- **ホームページで調べる**
  よくあるご質問や機能向上のためのアップデート情報など、以下のホームページで確認できます。
  https://www.sony.jp/support/bd-player/
- **電源コードをコンセントから抜き、2分以上待ってから差し直し、電源を入れる**
  電源コードを差しなおすことで、問題が解決することがあります。

※製造番号を控えて頂けると、万が一の問い合わせ時に早い対応につながることがあります。
製造番号は本機の後面に表示してあります。
製造番号 _____

型名：UBP-X800M2

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。 **https://www.sony.jp/support/**

使い方相談窓口

フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ **0120-333-020**
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥‥ **050-3754-9577**

修理相談窓口

フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ **0120-222-330**
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥‥ **050-3754-9599**

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX(共通) 0120-333-389

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に**「103」+「#」**を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

4-740-824-**02**(1)

©2019 Sony Corporation Printed in Malaysia